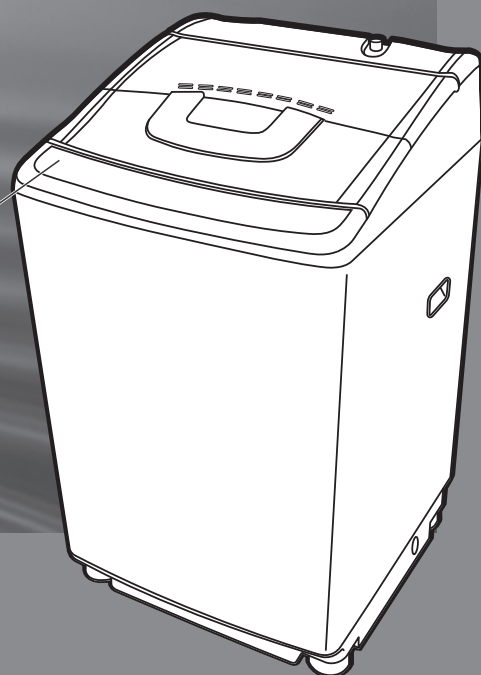
取扱説明書

AQUA

全自動電気洗濯機 家庭用

品番 AQW-VZ10B

品番

このたびは、全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受け取りの
うえ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

http://aqua-has.com/support/reg/

もくじ

ご使用の前に

使いかた

必要なとき

環境に配慮した使いかた

標準コース・給水量毎分15L
水量68Lの場合で比較しています。

■風呂の残り湯を使う
風呂水を「洗い～すすぎ1」まで使用すると水道水のみに比べ、1回につき約82L節水できます。
➡ P34～35

■洗濯液を2度使う
洗濯液を2度使うとコース運転を2回するのに比べ、1回につき約57L節水できます。 ➡ P37

■ためすすぎをする
ためすすぎは注水すすぎに比べ、すすぎ1回につき約37Lの節水ができます。 ➡ P15・32

■まとめ洗いをする
洗濯回数が減り、節水できます。

■本製品は洗濯量に応じて無段階に水量を自動設定します。洗濯物を入れ、スタートすると布量センサーがはたらき、適切な水量を設定します。

■まとめ洗いをする
洗濯回数が減り、節電できます。

■本製品は待機時消費電力(電源スイッチを切にした状態の電力)が 0(ゼロ) になっています。

■軽い汚れ※の場合
「洗剤0(ゼロ)」「おいそぎ」コースを使用する
※軽い汚れとは、汗やほこりの様な脂分をほとんど含まない汚れのことです。

■洗濯液を2度使う ➡ P37
洗剤量2回分が1回分ですみます。

■洗剤を使いすぎない

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質[注1]を含有しておりません[注2]。
(JIS C 0950の電気・電子製品の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております)
【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質
【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。
http://aqua-has.com/j-moss/

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〈本体への表示内容〉
※経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の表示を本体に行っています。

〈設計上の標準使用期間とは〉
・運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
・設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

〈経年劣化とは〉
長期間にわたる使用や放置にともない生ずる劣化をいいます。
●設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、7年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)

【設計上の標準使用期間】7年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

■標準的な使用条件：JIS C 9921-4による

区 分	項 目	条 件
環境条件	電 圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温 度	20℃
	湿 度	65%
	設置条件	P45～P52の記載内容による標準設置
負荷条件	負 荷	10.0kg
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03～1MPa
	給湯・給水	20℃±15℃
使用時間及び回数	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	37分
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

死亡や重傷を負うことが想定される内容です。

傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

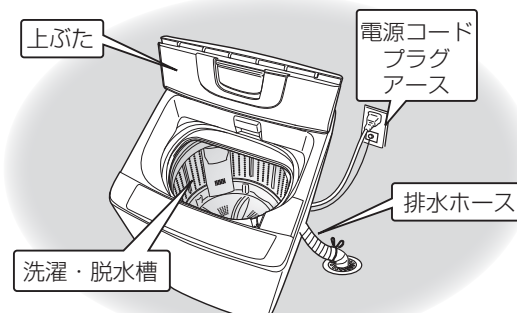
⚠ 警　告

本体・洗濯・脱水槽

- **幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない**
  本体の近くに台などを置かない
  子供など不慣れな方だけで使わせない
  （洗濯・脱水槽への落下によるけがの原因）
- **回転中の洗濯・脱水槽内に手などを入れない**
  完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。
  （けがの原因）

特にお子さまにはご注意ください。

- **操作部付近に磁石など磁気を帯びたものを近付けない**
  （上ぶたが開いた状態での誤動作によるけがの原因）
- **絶対に分解・修理・改造はしない**
  （火災・感電・けが・水もれの原因）
  修理はお買い上げの販売店または当社 修理相談窓口 にお問い合わせください。

故障かな？ ➡P53
修理相談窓口 ➡P60

電源プラグ・コード

- **コードや電源プラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
  （感電・ショート・発火の原因）
- **傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない**
  （破損による火災・感電の原因）
- **ぬれた手で抜き差ししない**
  （感電の原因）
- **延長コードは使用しない**
  （火災・感電の原因）
- **テーブルタップによるタコ足配線はしない**
  （火災・感電の原因）

- **定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**
  電源プラグは根元まで確実に差し込む
  （火災・感電の原因）
- **定期的に電源プラグのほこりなどを乾いた布で拭き取る**
  （ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因）

上ぶた

- **ロックしている上ぶたを無理に開けない**
（上ぶた・ロック機構の破損、けがの原因）
- **上ぶたの折れ曲がり近くに手を置いたまま、上ぶたを開閉しない**
（手や指をはさむことによるけがの原因）

風呂水

- **風呂水吸水ホースで灯油、ガソリンなど水以外のものを吸い込まない**
（爆発・火災の原因）

据え付け

- **浴室などの湿気の多い場所には据え付けない**
（感電・火災・故障・変形の原因）
- **風雨にさらされる場所には据え付けない**
（感電・火災・故障・変形の原因）

- **アースを取り付ける**
（故障・漏電による感電の原因）
必ず電気工事店や販売店に依頼してください。
工事費は本体価格には含まれません。
- **排水ホースの付け換え時には、必ず手袋をする**
（けがの原因）

お手入れ

- **本体各部に直接水をかけない**
（感電・火災・故障・変形の原因）

- **お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**
（感電・けがの原因）

その他

- **火気を近付けない**
ローソク、タバコ、蚊取り線香など
（火災・変形の原因）
- **ライター・火気のあるものをポケットなどに入れて一緒に洗濯をしない**
（火災・変形の原因）

- **動かない・煙が出た・変な臭いや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する**
（感電・漏電・ショートによる火災の原因）

⚠注　意

電源コード

- **電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く**
（感電・ショート・発火の原因）
- **長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
（絶縁劣化による感電
漏電火災の原因）

風呂水・給水

- **本体が浴槽の水面より低い場所で使わない**
（サイフォン現象により水が出続ける原因）
- **浄化フィルターを浴槽に入れたまま、風呂水吸水つぎ手をはずさない**
（サイフォン現象により水があふれ出し床をぬらす原因）
- **45℃以上のお湯は使わない**
（感電・漏電の原因）

水栓

- **運転前は水栓を開いて水もれがないか確認する**
（水もれの原因）
- **運転終了後は、必ず水栓を閉じる**
（水もれの原因）

据え付け

- **直射日光のあたる場所には置かない**
（プラスチック部品の変色や変形の原因）
- **冬期に凍結の恐れのある場所には置かない** ➡P45

安全上のご注意（つづき）

必ずお守りください

⚠注　意

防水品

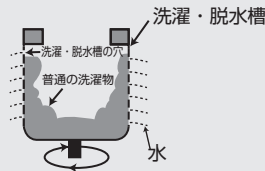
●防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない

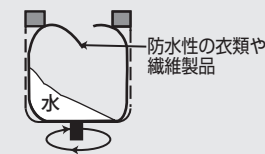
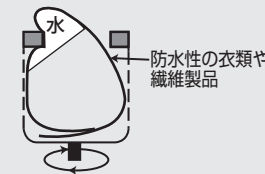
（洗濯物の飛び出しや異常振動によるけがが、本体・かべ・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因）

足拭きマットなど固くて厚いもの、雨ガッパ、ウインドブレーカー、オムツカバー、カーペット、サウナスーツ、ウエットスーツ、スキーウェア、自転車・バイク・自動車などのカバー、防水シート、寝袋など
その他、防水性の水を通しにくいもの

■防水性衣類の確認方法
衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。

脱水のご注意

■普通の洗濯物を脱水した場合

洗濯物の水は洗濯・脱水槽の穴から抜け出る

■防水性の衣類や繊維製品を脱水した場合

洗濯・脱水槽が回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から抜けないため、水が片寄って大振動を引き起こす

洗濯・脱水槽が高速回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から抜けないため、水が上に移動して大きな振動とともに飛び出る

その他

●本体の上にのぼったり、物を置かない
（変形・破損によるけがの原因）

●運転中、本体の下に手足などを入れない
（けがの原因）

●給水中に蛇腹ホースをつぶさない ホースバンドをゆるめたり、移動させない
（水もれの原因）

お願い
- 雷が発生したときは、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷により故障することがあります。
- すすぎ･脱水中にふたがロックされない場合、脱水中にロックを解除しても洗濯・脱水槽が回転している場合、「E46」を表示した場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

ふたロックと解除方法

「すすぎ」「脱水」「チャイルドロック設定」時は、ふたロックがかかります。

「チャイルドロック」設定・解除方法 ➡P39

■運転中の場合

（スタート 一時停止 (ロック解除)）を押し、「ピピッ」と音がするまでお待ちください。

- 洗濯・脱水槽が停止し、ふたロック が消灯すると上ぶたが開けられます。

■電源が「切」の場合

電源（入）を押してください。

- ふたロック が消灯すると、上ぶたが開けられます。
- 運転中に電源を切ったり、停電するとふたがロックされたままになります。

ふたロック 解除時間
- 洗濯・脱水槽が回転中に（スタート 一時停止）を押し、一時停止したときは、ふたロック が点滅します。
洗濯・脱水槽の回転が止まってから、ふたロックを解除します。(通常約30秒)
洗濯・脱水槽が回転中に（切）を押した場合、ふたロックが解除するまで何も受け付けません。
この場合、 が点滅します。

各部のなまえ

水　栓
（洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。予約洗濯のときのみ、開けて準備してください。）

マジックつぎ手
（付属品）

上 ぶ た
（運転中は必ず閉めてください。）

給水ホース
（付属品）

除湿型衣類乾燥機用排水口 ➡ P51

風呂水吸水口 ➡ P34・40
（風呂水ポンプをご使用になる場合は、吸水口キャップをはずしてください。）

電源プラグ

アース線 ➡ P45

給水口 ➡ P44

電源コード

洗剤・漂白剤投入口 ➡ P17・41

洗濯・脱水槽 ➡ P42

糸くずフィルター ➡ P41

ソフト仕上剤投入容器 ➡ P18・40

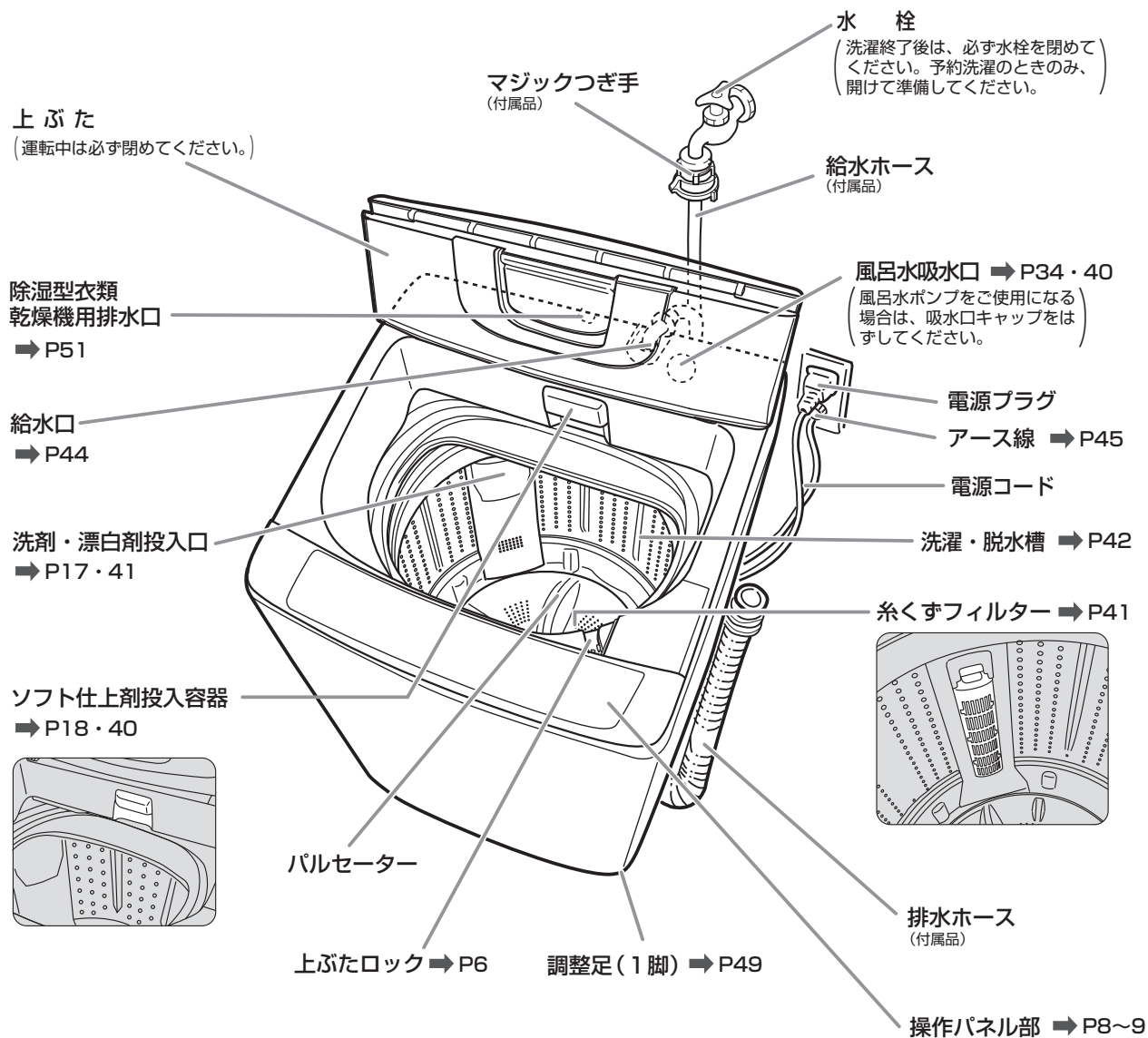
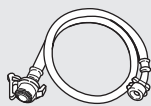
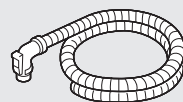
パルセーター

排水ホース
（付属品）

上ぶたロック ➡ P6

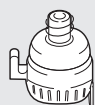
調整足（1 脚）➡ P49

操作パネル部 ➡ P8～9

付属品

排水ホース ➡ P46
（1 本）

給水ホース ➡ P51
（1 本）

風呂水吸水ホース ➡ P34
（1 本・長さ約 4m）

高さ調節クッションゴム
（1 個・5mm） ➡ P49

水準器（1個）
➡ 据付説明書

マジックつぎ手（1 個）
➡ P50

浄化フィルター（1 個）
➡ P34

計量スプーン（1 個）
➡ P22・42

操作パネル部のはたらき

予約 ➡P36

- 今から何時間後に運転を終了させるか選びます。

■残時間表示

- 運転中は、残り時間を表示します。

（例）残り2時間20分の場合

残り時間(分)
2:20

■お知らせ表示

- 異常が発生したときは点滅とブザーでお知らせします。 ➡P56~57

（例）給水しない場合

E: 1

■予約時間表示

- 予約中は、運転を何時間後に終了させるかを表示します。

（例）2時間後に運転を終了させる場合

予約 時間後
: 2

- 洗濯・脱水槽が回転中に電源を切ったときは、C:-] が点滅します。 ➡P6

洗剤の目安 ➡P16

- 水量に応じた洗剤量の目安を表示します。
- ▣はコンパクト洗剤(水30Lに対し20g)のスプーンを基準にしています。(すりきり1杯約47gのもの)

水量 ➡P12

- お好みの水量に切り換えるときに

洗い・すすぎ・脱水

- 時間・すすぎ回数や洗いのみ、脱水のみに切り換えるときに ➡P32
- 運転中の行程を点滅、残りの行程を点灯で表示します。
- 凍結防止(残水排水)を設定するときに ➡P38

風乾燥

- 洗濯物の干し時間を短縮させたいときに使います。
- 洗濯物の種類に応じて時間を選びます。 ➡P30

風呂水 ➡P35

- 風呂水を使って洗濯するときに
- 風呂水利用で異常が発生したとき、点滅でお知らせします。

除菌仕上げ

➡P29

- 洗濯物の除菌をするときに
- 「除菌仕上げ」を押すと点灯し、最終すすぎで除菌します。
- 自動設定水量を調節するときに ➡P39

洗剤0（ゼロ）コース

➡P20

- 軽い汚れのものを洗剤を使用しないで洗濯するときに
- 洗剤・漂白剤投入補助機能を設定するときに ➡P39

スタート／一時停止

- スタートするときに
- 一時停止するときに
  再び押すと運転を再開します。
- 終了ブザー音を消すときに ➡P37
- 上ぶたのロックを解除するときに ➡P6

電源 切/入

電源「入」は、ブザーが「ピッ」と鳴るまでしっかり押してください。

- 電源の「入」「切」に
- オートオフ機能
  - 運転終了、約5秒後に切れます。
  - 凍結防止(残水排水)設定時は、10分後に切れます。➡P38
  - スタートせずに放置していると10分後に切れます。
- 電源「入」にすると記憶しているコース内容が点灯します。➡P12

電解

- 「洗剤0（ゼロ）」「電解漂白」「カビガード(電解槽洗浄)」コース・除菌仕上げ設定時に点灯、電解時に点滅します。

コース

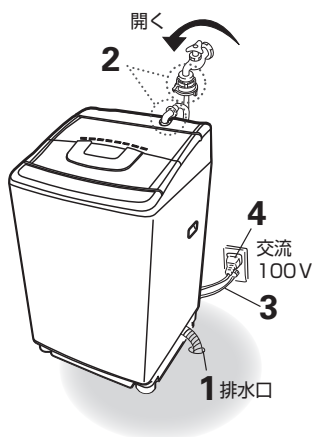
- ボタンを繰り返し押す毎に、コースを切り換えることができます。選んだコースが点灯します。
- 洗濯する衣類の種類や汚れに応じて選びます。
- チャイルドロックを設定するときに ➡P39

ふたロック表示

- 点灯中……上ぶたはロックされ開きません。
- 点滅中……ロック解除中です。
- 消灯中……上ぶたを開けることができます。

解除方法 ➡P6 ➡P39

洗濯の前に

本体の準備

1 排水ホースを排水口に差し込む
- 排水ホースの抜けがないか確認してください。

2 給水ホースをつなぎ、水栓を開ける
- マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから水もれがないか確認してください。 ➡P50〜51

3 アースを取り付ける ➡P45

4 電源プラグをコンセントに差し込む

洗濯物の重さの目安

約50g：くつ下（混紡）、ブリーフ（綿100%）

約110g：半袖肌着（綿100%）

約200g：ワイシャツ（混紡）、ブラウス（混紡）

約300g：バスタオル（綿100%）、セーター（混紡）

約500g：パジャマ上・下（綿100%）

約600g：ジーンズ（綿100%）

約800g：作業服上・下（混紡）

衣類の入れかた

●カーテンなどの大物、水に浮きやすいもの、厚手の衣類(ジーンズ・柔道着など)は水に浮かないように均一によく押し込んでください。

●**洗濯物は入れすぎないでください。**

●水に浮きやすいものや大物から先に入れてください。洗濯物が浮いていたら、一時停止して洗濯液に押し込んでください。

（給水時に水が飛び散り床がぬれる・汚れがよく落ちない・脱水時にはみ出して衣類や本体が破損する原因になります。）

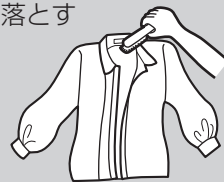
汚れがひどいものは前処理をする

部分洗い用洗剤や漂白剤を利用してください。

しみ汚れ

●酸素系液体漂白剤やしみ汚れ用洗剤などを塗って洗う。
食べ物のしみの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く

えり・そで汚れ

●そで口・えりなどの汚れは、洗剤液をつけ、ブラシなどで軽くたたいて落とす

泥や砂汚れ

●石けんや専用洗剤をつけてもみ洗いをする

●ブラシなどで落とす
(本体の故障を防ぐため)

黒ずみや黄ばみを抑える

●洗剤が少なかったり、ソフト仕上剤を入れすぎると黒ずみや黄ばみの原因になります。

➡**適正な量をお使いください。**

デリケートな衣類を守る 洗濯ネットの利用

■傷みやすい衣類

（レースのついた衣類、ランジェリー
ナイロンストッキング、化織のうす物 など）

➡「ドライ」コースで洗う ➡P23

■ワイヤー入りのブラジャー

➡必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れる

●ワイヤーが飛び出し、本体や他の洗濯物を傷める原因になります。

お願い

●ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは、使わないでください。

●洗濯ネットに衣類を詰め込みすぎないでください。

●大きめの洗濯ネットを使用したり、複数の洗濯ネットを入れた場合は、振動が大きくなったり、脱水ができないことがあります。
➡一時停止して洗濯・脱水槽内の洗濯物の片寄りを直してください。

きれいに仕上げるために

糸くずが気になるもの ➡P55

●気になる衣類は、分けて洗う

●タオル、バスタオルとは、分けて洗う

●市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う

●裏返して洗う

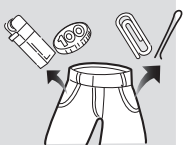
新しい色柄物・色落ちしやすいものは
分け洗いをする

■色落ち確認方法

洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する

ポケットの中に何も入っていないことを確認する

カーテンフック、ワイシャツのプラスチッククリップなどは、必ず取り除く

●排水経路にゴミや異物が詰まったり、衣類や本体を傷め、異常音・故障の原因になります。

衣類の取り扱い絵表示に従う

飾りのある衣類、起毛素材の衣類は裏返して洗う

●衣類の傷み、毛玉を防止するためです。

ひもは結ぶ
ボタンは留める
ファスナーは閉める
マジックテープは止める

●衣類や本体を傷める原因になります。

飲料水、化粧水が付着した衣類を長時間放置しない

●まれにピンク色に変色することがあります。すぐ洗い流してください。

衣類の取り扱い絵表示（例）

40℃以下で洗濯機で洗濯ができる

40℃以下で洗濯機の弱水流で洗濯ができる

30℃以下で弱い手洗いがよい

水洗いはできない

ドライクリーニングができる

塩素系漂白剤による漂白はできない

洗濯機で脱水するときは、短時間にする

ハンガーなどにつり干しをするのがよい

平らなところに広げて干すのがよい

日陰で平らなところに広げて干すのがよい

洗濯の前に（つづき）

布量検知(洗濯量の計測)

「洗剤0」「標準」「おいそぎ」「念入り」「自分流」コースのみ

- 「ふとん・毛布」「電解漂白」「ドライ」「カビガード(電解槽洗浄)」コースは布量検知をしません。

を押すと・・・・**自動的に布量検知をします。**

水のない状態で、パルセーターが回転して布量検知をします。
水量を参考に洗剤を入れてください。

- ●洗濯物がぬれていたり、初めから洗濯・脱水槽に水が少量入っている場合 ➡布量を重めに判定します。
- ●水が底から約5cm以上入っている場合
- ●お好み設定で「すすぎ」からスタートした場合
➡布量検知をしないで、68L（除菌仕上げ設定時は47L）を表示します。

記憶機能

「洗剤0」「標準」「おいそぎ」「念入り」「自分流」コースのみ

スタートから1分後に自動的に運転したコースを記憶します。

次回

電源 (入) を押すと記憶しているコースが点灯します。

▼

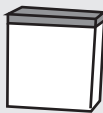
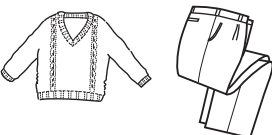
ワンタッチでスタートができます。

- ●「除菌仕上げ」設定は、スタートして約1分後に記憶します。再び電源を入れると前回の設定内容で運転ができます。「おいそぎ」コースのみ毎回「除菌仕上げ」「切」の設定となります。
- ●停電時や電源プラグをコンセントから抜いた場合も記憶しています。
- ●購入時は「標準」コースを記憶しています。

ご注意

と、洗い時間、すすぎ回数、脱水時間の変更内容は記憶しません。
洗い時間、すすぎ回数、脱水時間、風乾燥時間を記憶させたいときは、「自分流」コースをご使用ください。

水量について

（　）は除菌仕上げ設定時

コース名	自動設定水量	切り換え可能範囲
標準・おいそぎ 念入り・自分流	布量検知をします。 洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します	68L～16L (47L～16L)
洗剤0	布量検知をします。47L～16L 洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します	47L～16L
ドライ	47L	68L～32L
ふとん・毛布	68L	68L～47L

お知らせ

- 「電解漂白」「カビガード(電解槽洗浄)」コースは、水量を変更できません。
- 自動設定水量が少ない・多いと感じるときは、設定を変えることができます。洗濯する前にあらかじめ設定してください。 ➡P39
- 「最終脱水行程」「お好み脱水のみ」の設定は、水量変更できません。

コースの選びかた

洗濯物の種類	コース	洗濯容量	使用できる洗剤類
軽い汚れの衣類 一度使ったタオル類 汗がついたパジャマなど	着たから洗う軽い汚れに　洗剤0(ゼロ) ➡P20	5kg以下	ソフト仕上剤 下記のものは使用しないでください。 ●洗剤　●漂白剤
普段の衣類 Tシャツ、タオル類、パジャマ 下着、くつ下、ワイシャツ ズボン、作業服、体操服など	普段の汚れに　標準 ➡P19 軽い汚れを手早く　おいそぎ ➡P19 がんこな汚れに　念入り ➡P19 自分の運転を記憶させる　自分流 ➡P28	10kg以下 ※(5Kg以下)	粉末合成洗剤 液体洗剤 ソフト仕上剤 漂白剤
白物衣類 白いTシャツ、肌着、 タオル類など	白物衣類を漂白したいときに　電解漂白 ➡P22	2kg以下	ソフト仕上剤 塩 計量スプーン(付属品) 下記のものは使用しないでください。 ●洗剤　●漂白剤
毛布やふとんなど	手洗イ30の毛布やふとんなどの大物に　ふとん・毛布 ➡P26	毛布 4Kg以下 綿毛布 4.5Kg以下 夏掛ふとん 羽毛掛けふとん 1.8Kg以下	粉末合成洗剤 液体洗剤 ソフト仕上剤 漂白剤
デリケートな衣類 セーター、カーディガン、学生服 ランジェリー類、スカート ブラウス、スラックスなど	手洗イ30 ドライの衣類　ドライ ➡P23 ウールのセーター、シルク製品などのデリケートな衣類を洗うときに使います。	1.5kg以下	液体中性洗剤 ソフト仕上剤
洗濯・脱水槽のお手入れ	洗濯・脱水槽のカビを予防するときに　カビガード(電解槽洗浄) ➡P42 洗濯・脱水槽に黒カビが発生すると洗濯物に茶かっ色または、黒い汚れがつくことがあります。	洗濯物は入れない	 塩 計量スプーン(付属品)

※(　)は除菌仕上げ設定時

コース内容と所要時間

コース	水量	自動設定の内容 洗い(約)	すすぎ	脱水(約)	所要時間(約)
洗剤0(ゼロ)	47L～16L	予洗い3分 + 洗い20分 [予洗い3分 + 洗い12分]	1回 (シャワーすすぎ) [1回 (除菌すすぎ)]	5分	35分～37分 [53分～56分]
標準	68L～16L [47L～16L] 無段階自動設定	7分～9分	2回 (シャワーすすぎ+ためすすぎ) [2回 (シャワーすすぎ+除菌すすぎ)]	5～6分	24分～37分 [46分～51分]
おいそぎ		5分～6分	注水2回 (シャワーすすぎ+注水すすぎ) [2回 (シャワーすすぎ+除菌すすぎ)]	3分40秒	20分～27分 [42分～44分]
自分流		設定内容による			
念入り		10分～12分	注水2回 (注水すすぎ+注水すすぎ) [注水2回 (注水すすぎ+除菌すすぎ)]	5～6分	39分～52分 [58分～64分]
ふとん・毛布	68L～47L	12分	注水2回 (注水すすぎ+注水すすぎ) [注水2回 (注水すすぎ+除菌すすぎ)]	6分	47分～53分 [74分～80分]
ドライ	68L～32L	4分	注水2回 (注水すすぎ+注水すすぎ)	1分	23分～29分
電解漂白	32L	33分	注水1回 (注水すすぎ)	5分	51分
カビガード (電解槽洗浄)	68L	食塩を溶かす + つけおき3時間 + 洗い5分	注水1回 (注水すすぎ)	2分	約3.5時間

お知らせ

- 除菌時間は水質により変わる場合があります。残時間表示が停止する場合があります。
- 所要時間は、水道水圧・排水条件・水質により変わります。給水量が毎分15Lのときの目安です。
- シャワーすすぎ時、洗濯量が少ないときは、洗濯物に水がかからない場合があります。
- 自動設定の内容は、表示されている数値と異なる場合があります。

切り換えの範囲		
洗い	すすぎ	脱水
自動設定され、切り換えできません		1分・3分・6分・9分
なし(消灯) 3分 7分 10分 15分	1回 注水1回 2回 注水2回 3回 注水3回 なし(消灯) [2回 注水2回 3回 注水3回]	なし(消灯) 1分・3分・6分・9分 [1分～9分]
	1回 注水1回 2回 注水2回 3回 注水3回 なし(消灯) [注水2回 3回 注水3回]	
	1回 注水1回 2回 注水2回 3回 注水3回 なし(消灯)	なし(消灯) 1分・3分
自動設定され、切り換えできません		なし(消灯) 1分・3分・6分・9分
自動設定され、切り換えできません		

設定の場合

[　　] 内の内容になります。

- 「ドライ」コースは、除菌仕上げ設定できません。
- 「おいそぎ」コースのみ、すすぎの設定が注水2回→2回になります。

すすぎの種類

すすぎの前に排水して、脱水します。

シャワーすすぎ

洗濯・脱水槽をゆっくり回し給水と排水を同時に行いすすぐ

ためすすぎ

設定水位まで給水後、水をためてすすぐ

注水すすぎ

設定水位まで給水後、水を注水しながらすすぐ

除菌すすぎ

つけおき(除菌)

ためすすぎ(除菌)

設定水位まで給水後、水をためて、電解水をつくる
その後、ためすすぎをする

洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤、粉石けん

使用量(目安)

水量	洗濯量【乾燥布】(以下)		合成洗剤						粉石けん	ソフト仕上剤			酸素系液体漂白剤	
			粉末		液体									
		水30Lに対し➡	20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL 中性洗剤	40g	7mL	10mL	20mL	20mL	40mL
68L	10.0kg		45g (32g)	57g	23mL	45mL	57mL	91mL	91g	16mL	23mL	45mL	45mL	91mL
55L	7.0kg		37g (26g)	46g	18mL	37mL	46mL	73mL	73g	13mL	18mL	37mL	37mL	73mL
47L	5.0kg		31g (22g)	39g	16mL	31mL	39mL	63mL	63g	11mL	16mL	31mL	31mL	63mL
32L	2.0kg		21g (15g)	27g	11mL	21mL	27mL	43mL	43g	7mL	11mL	21mL	21mL	43mL
16L	0.5kg		11g (8g)	13g	5mL	11mL	13mL	21mL	21g	4mL	5mL	11mL	11mL	21mL

- **「おいそぎ」コース**での洗剤量は、(　　)を参照ください。
- **「ドライ」コース**での洗剤量は、洗剤容器の使用量の目安に従ってください。
- 表示の目安は、1杯が47g（水30Lに対し20g）のスプーンに合わせています。洗剤によりスプーン1杯の洗剤量が異なります。お使いの洗剤容器の「使用量の目安」に従ってください。
- 計量スプーンのついていない洗剤は、上の表を参考にしてください。
- 洗剤は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。
  - ・汚れが多い場合は、洗剤量を増やし、軽い汚れの場合は洗剤量を控えめにしてください。
  - ・洗剤は、入れすぎないようにしてください。すすぎが不十分になり、衣類に残ります。
  - ・特に液体洗剤は、軽い汚れでは泡立ちがよくなるので入れすぎにご注意ください。

軽い汚れとは、汗やほこりの様な脂分をほとんど含まない汚れのことです。

- 溶けにくい洗剤は十分に水で溶かしてから入れてください。
- 固まった洗剤は砕いてから入れてください。
- 洗濯量は、JIS（日本工業規格）規定の布地を使用した場合のものです。洗濯物の厚さ・大きさ・種類により洗える量が変わります。布の動きが悪いときは、洗濯量や水量を調節(多めに)してください。

粉石けん　溶け残りを防ぐため、あらかじめ溶かしてください。

1 水栓を開き、電源を入れ、［コース］で「標準」を選ぶ

2 水量「16L」・洗い「3分」に設定し、を押す
お好み設定 ➡P32

3 給水が止まったら、粉石けんを洗濯・脱水槽に入れて上ぶたを閉める

4 運転終了後、洗濯物を入れて電源を入れ［コース］を押し、希望のコースを選ぶ

5 (水量)で使用する水量を設定し、(スタート 一時停止 (ロック解除))を押し、上ぶたを閉める

■溶けにくい場合

1 容器に約30℃のぬるま湯(約5L)を入れる

2 十分かき回しながら、粉石けんを少しずつ入れる

3 固まったり、粒が残らないようによくかきまぜ、洗濯・脱水槽に入れる

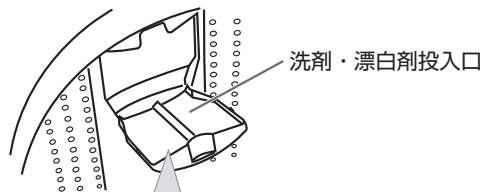
4 洗濯物を入れ、水栓を開き、電源を入れて［コース］を押し、希望のコースを選ぶ

5 (水量)で使用する水量を設定し、(スタート 一時停止 (ロック解除))を押し、上ぶたを閉める

- 粉石けんは、すすぎが不十分ですと洗濯物に残り、黄ばみや臭いの原因になります。すすぎ回数を増やし、十分にすすいでください。
- 使用量が多すぎたり、水温が低いと完全に溶けずに衣類に残ったり、洗濯・脱水槽に残った粉石けんが浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。　洗濯・脱水槽 ➡P43
- **予約運転をするときは、粉石けんを使用しないでください。**(固まる恐れ)

洗剤・漂白剤の使いかた

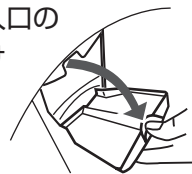
「洗剤・漂白剤投入口」に入れてください。

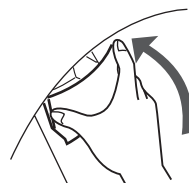
「標準」「おいそぎ」「念入り」「自分流」コースでは、布量検知後、水量が点滅中(約1分間)に入れてください。
(布量検知の約1分後、または上ぶたを閉めると給水が始まります。)

入れにくい位置にあるときは、洗濯・脱水槽を手で右方向(時計回り)に回し、投入口の位置を変えてください。

投入口の位置が変えにくい場合 ➡P39

- あらかじめ洗剤を水や湯で溶かして入れる場合
  すでに給水している場合、溶けにくい場合
  洗濯量が1.5kg以下の場合
  ➡直接、洗濯・脱水槽に均等に入れてください。
- 洗濯量が多く「洗剤・漂白剤投入口」が開かない場合
  ➡直接、洗濯・脱水槽と洗濯物の間に入れてください。
- 投入口がぬれている場合
  ➡洗剤などが残ることがあるため、水滴を拭いてから入れてください。
- 予約洗濯の場合 ➡P36

開けかた

洗剤・漂白剤投入口の凹部に親指をかけ手前に引く

閉めかた

洗剤などを投入後、「カチッ」と両側のツメがはまる音がするまで確実に押し込む

(両端を交互に押すと軽く閉まります。)

ご注意

洗剤・漂白剤投入口が開いた状態で運転すると、衣類がひっかかり破損する恐れがあります。

洗　剤

液体洗剤

溶けやすくするため、洗剤と同量の水で薄めてください。

粉末洗剤

そのまま、「洗剤・漂白剤投入口」に入れてください。

お知らせ

- 洗剤は、入れすぎると泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。
- 粉石けんは入れないでください。➡P16
- 溶けにくい洗剤は十分に水で溶かしてから入れてください。
- 固まった洗剤は砕いてから入れてください。

漂白剤

液体漂白剤

液体漂白剤の3倍の量の水で薄めてください。

お知らせ

- 塩素系漂白剤を直接、洗濯・脱水槽に入れたり、洗濯物にかけないでください。(変色・布破れの原因)
- 操作パネル部にこぼさないようにしてください。
- 予約時は酸素系漂白剤を使用してください

粉末漂白剤

そのまま、「洗剤・漂白剤投入口」に入れてください。

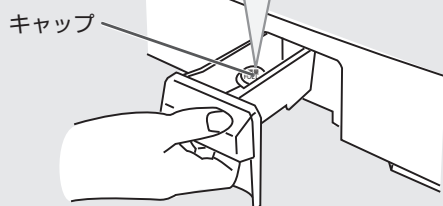
- 使用量と使いかたは、容器の表示に従ってください。

ソフト仕上剤の使いかた、のりづけ

ソフト仕上剤

「ソフト仕上剤投入容器」に入れてください。

洗濯前に入れておくと、最終のすすぎで自動的に投入されます。

- 「満量 FULL」の矢印位置以上入れないでください。サイフォン現象ですぐ流れ出ることがあります。
- サイフォン現象でわずかに薄い液や水が残ることがあります。
- キャップは確実に押し込んでください。

濃縮タイプは、2倍の水でうすめ、よく溶かしてから入れてください。(固まる恐れ)

- ソフト仕上剤は、入れすぎないでください。(衣類の黒ずみの原因)
- 操作パネル部にこぼさないようにしてください。
- 「ソフト仕上剤投入容器」は、確実に閉めてください。
- ソフト仕上剤を入れた後、長時間(12時間以上)放置しないでください。ソフト仕上剤が固まる場合があります。

のりづけ

■のりづけできる洗濯物 1.5kg以下

■使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり【酢酸ビニール系】

- 上記以外は故障の恐れがあるため、使わないでください。

のりの量は、容器に表示されている分量を目安にしてください。

1 洗濯のりを1L程度の水で薄め、洗濯・脱水槽に入れる

2 洗濯物を入れ、上ぶたを閉める

3 水栓を開き、電源 (入) を押す

4 [コース] を押し、「おいそぎ」を選び、水量「(下表参照)」洗い「3分」脱水「1分」を設定する ➡P32

水　量	洗える量
47L	1.5kg以下
32L	0.5kg以下

5 (スタート 一時停止 (ロック解除)) スタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

のりづけ後は 洗濯・脱水槽を洗ってください。

のりが残っていると、故障の原因になります。

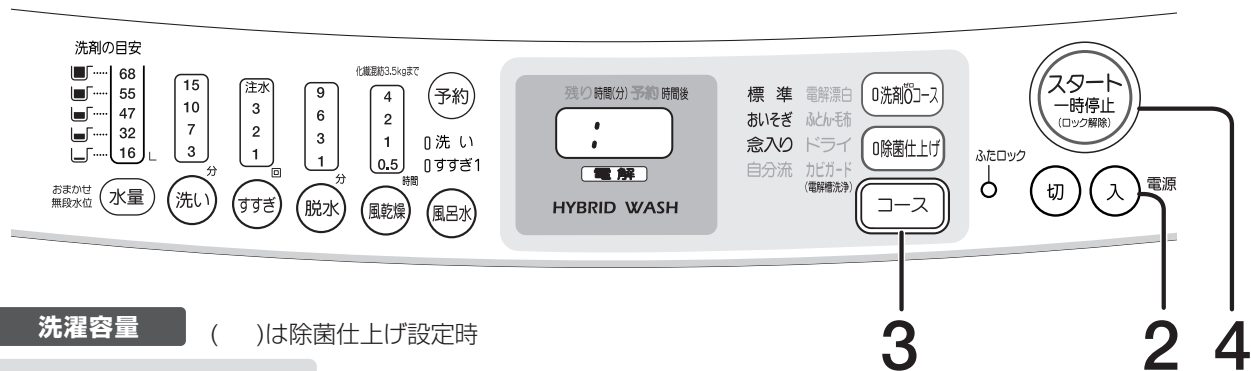
1 洗濯物を取り出した後 [コース] を押し、「おいそぎ」を選び、水量「68L」洗い「7分」脱水「1分」を設定する ➡P32

2 (スタート 一時停止 (ロック解除)) を押し、上ぶたを閉める

- 運転終了後、水栓を閉じてください。

お知らせ

- 糸くずフィルターにたまった糸くずを取り除いてください。のりで固まって取れにくくなります。

おまかせ洗濯

洗濯容量　(　)は除菌仕上げ設定時

10.0kg以下(5.0kg以下)

標準コース

綿素材の下着など、普段着の洗濯

おいそぎコース

軽い汚れの衣類を手早く洗濯したいときに

念入りコース

がんこな汚れをきれいに洗濯したいときに

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源 (入) を押す

3 [コース] を押し、使用するコース(「標準」「おいそぎ」「念入り」)を選ぶ

- 必要に応じ、(風乾燥)(風呂水)[除菌仕上げ] を設定してください。

布量検知

4 (スタート 一時停止) スタートする

検知中表示 -:--

- パルセーターが回転し、布量検知を開始します。➡P12

5 検知後に水量・洗濯行程内容・残時間を表示します。

6 水量が点滅中(約1分間)に洗剤を「洗剤・漂白剤投入口」に入れ、上ぶたを閉める

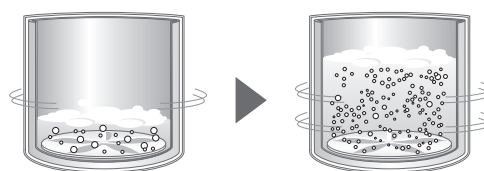
- 漂白剤、ソフト仕上剤 ➡P16〜18

(ふたが開いていると洗い運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

お知らせ

- 「標準」「念入り」「自分流」コースは、洗いの始めに（ホイップ泡洗浄）をします。
（ホイップ泡洗浄）とは、高濃度の洗濯液を衣類にしみ込ませるため、少ない水量からかくはんを始め、水を追加しながら洗います。

着たから洗う軽い汚れに 洗剤0(ゼロ)コース

パルセーターの回転と水を電気分解することによって発生する活性酸素と電解次亜塩素酸の力で、
軽い汚れのものを洗剤を使用せずに洗濯するコースです。
着たから洗う軽い汚れの洗濯物に適しています。

洗えるもの（例）

- 一日着た軽い汚れの肌着・Tシャツ

  一日着た肌着でも個人差により汚れは異なります。黒ずみが気になれば洗剤で洗うことをおすすめします。
- ジョギングあとのトレーニングウェア
- シミや皮脂がこびりついていない ワイシャツ・ブラウス
- 一度使ったタオル類
- 汗が付いたパジャマ・シーツ
- 手・汗をふいたハンカチ
- 赤ちゃんの肌着
- 室内で着ていたポロシャツ・綿シャツ

洗えないもの（例）

- 黒ずんでいたり汚れが目立つ 一日着た肌着・Tシャツ
- ランジェリー・ウール製品など 型くずれしやすいもの
- 色物・柄物など、色落ちしやすいもの（ジーンズなど）
- 油の付いた作業着や衣類
- 運動した後の泥が付いた スポーツウェアや子供服
- こびりついた汚れのエリやそで
- 黄ばみやシミのついた衣類・タオル類など
- 口紅などの化粧品のついたもの
- 染色効果のある汚れがついたもの（ぶどう・桃の果汁・ウーロン茶など）
- 毛布
- ドライマーク衣類

お知らせ

- すべての汚れが落ちるわけではありません。上記の洗えないもの(例)のような汚れは落ちません。また、汚れの程度・質・成分によって落ちないものもあります。そうした汚れは、従来通り洗剤使用コースをご使用ください。
- 上記の洗えるもの(例)のものでも黒ずんでいたり、こびりついた汚れであれば、従来通り洗剤使用コースをご使用ください。
- 何度か洗濯しているうちに衣類に施されていた蛍光剤が取れて繊維本来の色になるものがあります。(自然の色ですが)気になるようであれば、「標準」コースで洗剤及び漂白剤を入れて洗濯してください。
- 染料によっては、色落ちするものがあります。衣類の取り扱い絵表示に従ってください。
- 傷みが気になる衣類は、洗濯ネットに入れてください。➡P11
- エリ・そでなどの汚れが目立つ場合、部分洗い用洗剤をつけて洗うと効果的です。

洗濯容量

5.0kg以下

- 洗い すすぎ は設定できません。
- 電解中は 電解 が点滅します。
- 洗いの前に予洗い(3分)をします
- 水量は、47L～16Lまで設定できます。
- ソフト仕上剤は使用できます。
  ソフト仕上剤投入容器に入れてください。

1 水栓を開き、洗濯物を入れ、上ぶたを閉める

2 電源 入 を押す

3 洗剤0コース を押す

- 電解 が点灯します。

- 必要に応じ、風乾燥 風呂水 除菌仕上げ を設定してください。

4 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

- パルセーターが回転し、布量検知を開始します。➡P12
  検知後に水量・残時間を表示し給水を開始します。
  (ふたが開いていると洗い運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

ご注意

- **風呂水を使用する場合、入浴剤の入った風呂水はさけてください。入浴剤の種類により電解しない場合があります。**
  洗剤、塩、漂白剤を入れると電解できない場合があります。
- 井戸水は使用できません。

白物衣類を漂白する 電解漂白コース

「電解漂白」コースは、食塩を入れて電解水で漂白するコースです。
電解水で洗うため、漂白剤・洗剤は使用しないでください。

洗えるもの（例）

水洗いできる木綿・麻・ポリエステル・アクリルの白物の繊維製品

- ・黄ばみ・黒ずみの漂白
- ・衣類の除菌・消臭
- ・赤ちゃん衣類の漂白
- ・食べ物、飲み物の汚れの漂白

洗えないもの（例）

- 毛・絹・ナイロン・アセテート・ポリウレタンの繊維製品
- 色物・柄物の繊維製品
- 金属製の付属品(ファスナー、ボタン、ホックなどのとめ具がついた衣類)
- 獣毛のハケ

お知らせ

- ●黄ばみ、汚れの具合によっては、十分に漂白できない場合があります。その場合は、塩素系漂白剤でつけおきすることをおすすめします。つけおき後、洗濯機を使用する場合は十分にすすいでからご使用ください。
- ●白物衣類でも洗えない物がありますので、ご注意ください。
(衣類の取り扱い絵表示に従って、塩素漂白ができるか確認してください。)
- ●繊維自体が変色して黄ばんだものは、「電解漂白」コースで洗っても元に戻りません。
- ●食塩を入れすぎると「電解漂白」コースは運転せず「UC」を表示し、排水→脱水→給水→すすぎ→排水→脱水して終了します。さび防止のためです。
- ●水質により「UC」を表示することがあります。その場合は、食塩の量を減らしてください。

洗濯容量

2.0kg以下

お知らせ

- ● 脱水 風乾燥 のみ設定できます。
- ●電解中は 電解 が点滅します。
- ●ソフト仕上剤は使用できます。
「ソフト仕上剤投入容器」に入れてください。 ➡P18
- ●井戸水は使用できません。

ご注意

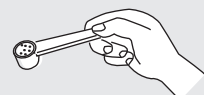
- ● **24時間以上、食塩水を入れたまま放置しないでください。故障の原因になります。**

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源 入 を押す

3 コース を押し、「電解漂白」を選ぶ

- ● 電解 が点灯します。

4 食塩(4g)を洗濯・脱水槽内に均等に入れ、上ぶたを閉める

付属の計量スプーン
すりきり一杯約4g

5

スタートする
(ふたが開いていると洗い運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- ●水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

デリケートな衣類の洗濯 ドライコース

衣類の縮みを防ぐためにやさしく洗います。

洗えるもの(例)

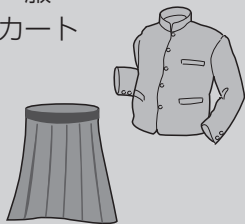
取り扱い絵表示が、

の

デリケートな衣類

ウール、カシミヤ
アンゴラのセーター
カーディガンなど

絹、麻のワンピース
ブラウス、シャツなど

学生服、セーラー服
スラックス、スカート
ジャンパー
カーテンなど

洗えないもの(例)

取り扱い絵表示が、
の衣類

芯地を多く使っており、型くずれするもの
ネクタイ、ジャケット、スーツなど

水につけるだけで著しい収縮や変色、表面変化を起こす恐れの素材や型くずれしやすいもの
レーヨン、キュプラ及びその混紡品、絹、ウールなどの中で強撚糸使いの生地、ジョーゼット、クレープ、ちりめんなど

毛倒れをするもの ビロードなどのパイル地

表面の凹凸などが消えやすいもの
シワ、エンボス、樹脂加工品など

皮革、毛皮、装飾品のついたもの

和服、和装小物

取り扱い絵表示がないもの、素材が不明なもの
色落ちしやすいもの

防水性のマット、シート、衣類など ➡ P6

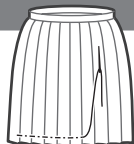
洗濯前のチェック

初めて洗う衣類は、色落ちしないか確かめる

●洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認してください。

●スカーフや外国製の衣類には色落ちしやすいものがあります。

毛素材などでプリーツ加工のものは、開かないように糸で留める

●糸は乾いてから取ってください。

ボタン・刺しゅうが付いている衣類は裏返す

シミや部分汚れがないか確かめる

●シミは裏側にタオルをあて洗剤液をつけ、一定方向にブラッシングしてください。

●ポケット周り・そで口・えりすその汚れは、洗剤液をつけブラシなどで軽くたたいて落としてください。

カーテンなどの大物以外は、洗い時間を7分以内にする

●自動設定は4分になっています。
（縮みをおさえるため）

●カーテンのフックは、必ずはずしてください。

デリケートな衣類の洗濯 ドライコース （つづき）

洗濯容量

1.5kg以下

水位	洗濯容量
68L	1.5kg以下
55L	
47L 自動設定	0.8kg以下
32L	0.2kg以下

●16Lは、布傷み防止のため設定できません。

重さの目安

セーター 約300g

スラックス 約400g

ブラウス 約200g

1 水栓を開き、（入）を押す

2 上ぶたが閉まっていることを確認して、

を押し、「ドライ」を選ぶ

●必要に応じて

を設定してください。

3 （スタート一時停止（ロック解除））を押してスタートし、給水が止まったら、もう一度（スタート一時停止（ロック解除））を押して、運転を止める

4 上ぶたを開いて、液体中性洗剤を入れ、手で軽く混ぜる

●粉末中性洗剤は、ぬるま湯（約30℃）でよく溶かして入れてください。

●ドライ衣類を洗うときは、洗濯・脱水槽内の水温を30℃以下にしてください。

●必要に応じ、ソフト仕上剤を入れます。 ➡P16・18

●上ぶたを開くタイミングにより、「ピピッ」音とともに「U4」を表示する場合があります。お客さまの安全のため、運転中に上ぶたが開いたことを示す注意表示です。故障ではありません。次の手順のように上ぶたを閉めると運転を再開します。

5 洗濯物をたたんで水中に押し込み、上ぶたを閉めてから、（スタート一時停止（ロック解除））を押して再びスタートする

ブザーが鳴ったら、運転終了

●すぐに衣類を取り出し、陰干ししてください。（長時間放置するとシワや縮みの原因になります。）

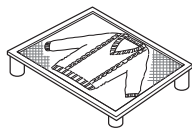
●水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

お知らせ

●（予約）（除菌仕上げ）（風乾燥）は設定できません。

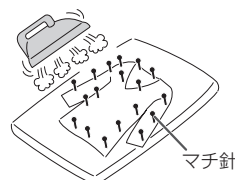
●脱水時間は、ドライ衣類の収縮を防ぐため、6分・9分に設定できません。

干しかた

・風通しの良い日陰に干してください。

ウール、アンゴラ カシミヤなどのセーター	絹、麻などの ブラウスやワンピース
形を整え、裏返して平干し	ハンガー干し
スカート 型を整えてハンガー干し (伸びやすいものは平干し)	スラックス 折り目を合わせて ハンガー干し

縮んだとき

1 伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打ちます。

2 スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかけた後、乾くまでそのままの状態にしておきます。

●衣類の購入時、型紙をとっておくと便利です。

アイロン仕上げ

- スチーム・ドライやアイロンの温度などは、衣類の取り扱い絵表示に従ってください。
- てかりの出やすいスカート・スラックスやししゅう・ビーズのついたものは当て布をしてください。

■アイロンの表示

アイロンがけは、できない

アイロンの下に波がある表示は、当て布をしてアイロンがけをする

■アイロンの適性温度

約80～120℃ アクリル系 ナイロン

約140～160℃ ポリエステル 毛・絹

約180～210℃ 綿・麻

セーター

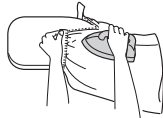
全体の仕上げ

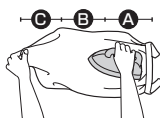
スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整える

そで口などの部分仕上げ

- 手でたて方向に引っぱって形を整える
- 伸びきったゴム編み部分には、たっぷりスチームをかける

● 押さえがけは、しないでください。

スカート

1 ファスナーまわりをかける

2 Ⓐの部分から順に、3段階に分けてかける

3 すそを微調整する

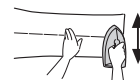
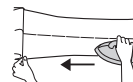
スラックス

1 ファスナーまわりと腰まわりをプレスする

2 センターをプレスする

3 すそをプレスする

4 前・後の線をプレスする

ドライコース

ふとん・毛布など大物の洗濯 ふとん・毛布コース

毛布・掛けふとんなどの大物を洗うときに適しています。必ず、大物洗い用洗濯ネット（別売 ➡P58）をお使いください。使用しないと洗濯・脱水槽からはみ出し、擦れて洗濯物や本体を傷めたり、水が飛び散る原因になります。

洗濯できるもの

毛布

取り扱い絵表示が 手洗イ 30 の

●綿毛布
シングルサイズ　140cm×200cm以下

洗濯容量	4.5kg 以下 1.5kgのもの（3枚まで）

●アクリルまたはポリエステル100%のマイヤー・タフト毛布
ダブルサイズ以下　180cm×230cm以下

洗濯容量	4.0kg 以下

ふとん

取り扱い絵表示が 手洗イ 30 の

●中わたがポリエステル100%の夏掛けふとん
大きさ　180cm×210cm以下

洗濯容量	1.8kg 以下

●洗濯機で洗えると記載されている羽毛ふとん
大きさ　150cm×210cm以下

洗濯容量	1.8kg 以下

洗濯できないもの

毛布

●純毛の毛布

●電気毛布
電気毛布は洗えるものと洗えないものがあります。電気毛布の取扱説明書に従ってください。

●ロングパイル(毛足1cm以上)の毛布
洗濯すると毛倒れする恐れがあります。

ふとん

●取り扱い絵表示のないもの

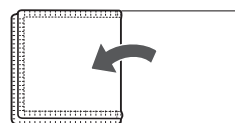
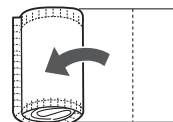
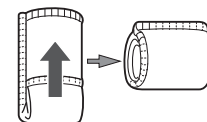
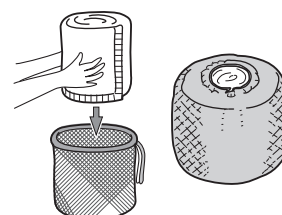
●側生地がタオル地のもの
(毛足1cm以上)
洗濯すると毛倒れする恐れがあります。

●中綿がポリエステル、羽毛以外のもの

■洗濯前の準備

大物洗い用洗濯ネットに入れてください。

- 正しく準備しないと、ふとん・毛布や本体を傷めたり、水が飛び散る原因になります。
- ゴミや糸くずは、取り除いてください。

1 長い方を2つ折りにする

2 同じ方向に3つ折りにする

3 巻く

4 フチのある方を下にして、洗濯ネットに入れ、ひもを固く結んでリボン結びにする
- リボン部分は洗濯ネットと毛布の間にはさみ込む

●設定できる水量

68L	自動設定
55L	○
47L	○
32L	×
16L	×

ご注意

- 洗剤は、入れすぎると溶けずに残ることがあります。入れすぎないようにしてください。

1 水栓を開き、洗濯ネットに入れた毛布・ふとんを入れる

2 電源 入 を押す

3 コース を押し､｢ふとん・毛布｣ を選ぶ

- 必要に応じ、風乾燥 風呂水 除菌仕上げ を設定してください。

4 洗剤を入れる

粉末洗剤 溶け残りをなくすため、あらかじめ約5Lのぬるま湯(約30℃)でよく溶かしてください。
溶かさずに入れると白く残ることがあります。

液体洗剤 洗濯・脱水槽の周りに直接入れてください。

- 必要に応じ、ソフト仕上剤、漂白剤を入れます。

➡P16～18

5 スタート 一時停止 (ロック解除) スタートする

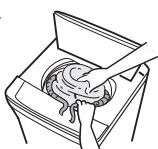
(ふたが開いていると洗い運転は始まりません。)

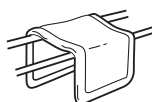
ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

洗濯が終わったら

取り出すときは

洗濯ネットのひもをほどき、毛布・掛けふとんの中心部を持って引き出す

乾燥は

風通しのよい日陰で自然乾燥、または毛布乾燥機能のある衣類乾燥機で乾燥する

毛布が乾いたら

パイル(毛なみ)方向に軽くブラッシングするときれいに仕上がります。

- 掛けふとん・綿毛布の乾燥は、その取り扱い絵表示に従ってください。

自分流の運転内容を記憶させる 自分流コース

お好みの運転内容を記憶させることができます。
次からは「自分流」を選ぶと前回設定した運転内容で運転することができます。
風呂水の設定内容は （風呂水）を押すと前回の内容が点灯します。
「水量」と「予約」は、記憶しません。

洗濯容量 （　　）は除菌仕上げ設定時

10.0kg以下(5.0kg以下)

購入時の設定
- 洗い　：10分
- すすぎ：2回
- 脱水　：6分

お知らせ

- 停電や電源プラグをコンセントから抜いた場合も記憶しています。
- 洗いの始めに （ホイップ泡洗浄） をします。➡P19
- お好み設定ですすぎ回数を減らしてから （除菌仕上げ） を押した場合、除菌効果を出すため、すすぎ2回(シャワー＋除菌すすぎ)になります。
- すすぎを設定していないと （除菌仕上げ） は受け付けません。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源 （入） を押す

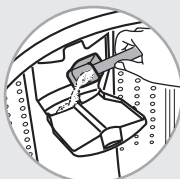
3 （コース） を押し、「自分流」を選ぶ

4 （洗い）（すすぎ）（脱水） を押し、お好みの時間、すすぎ回数を設定する

- 必要に応じ、（風乾燥）（風呂水）（除菌仕上げ） を設定してください。

5 （スタート 一時停止（ロック解除）） を押す

- 布量の検知後、水量を表示します。
- スタートして約1分後に前回の内容は消え、新しい内容が記憶されます。

6 水量が点滅中(約1分間)に洗剤を「洗剤・漂白剤投入口」に入れ、上ぶたを閉める

- 必要に応じ、ソフト仕上剤、漂白剤を入れます。➡P18~20

(ふたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

電解水で除菌※する 除菌仕上げ

最終の除菌すすぎ時に電解水の力で雑菌を除菌※します。
「ドライ」「電解漂白」「カビガード(電解槽洗浄)」コースやすすぎをしない場合は設定できません。

洗濯容量

5.0kg以下

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- 「ふとん・毛布」コースでは、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。➡P26〜27

2 電源 (入) を押す

3 使用するコースを選ぶ

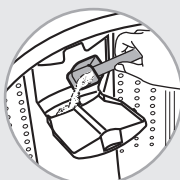
- 必要に応じ、   を設定してください。

4 (除菌仕上げ) を押す

- (電解) が点灯します。
  (除菌仕上げを記憶している場合は、電源を入れると点灯します)
- すすぎが選択されていないと受け付けません。

5 (スタート 一時停止 (ロック解除)) を押す

- 布量の検知後、水量を表示します。

6 水量が点滅中(約1分間)に洗剤を「洗剤・漂白剤投入口」に入れ、上ぶたを閉める

- 必要に応じ、ソフト仕上剤、漂白剤を入れます。➡P16〜18

(ふたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

お知らせ

- 除菌中は、 (電解) が点滅します。
- 水質によっては、除菌の効果が薄れる場合があります。
- 最終すすぎで除菌をするため所要時間が長くなります。
- スタートして約1分後に除菌仕上げを記憶します。
- 除菌効果を出すため、すすぎ回数は2回以上にしか設定できません。
  (「洗剤0(ゼロ)」コースはすすぎ1回設定)
- 脱水なし(消灯)にすることはできません。
- 水量は、47L〜16Lまで設定できます。但し、「ふとん・毛布」コースのみ68L〜47Lまで設定できます。
- (除菌仕上げ) は、スタート後は受け付けません。

※
試験依頼先　(一財)日本食品分析センター
試験の方法　寒天平板培養法
除菌の方法　電気分解

自分流コース・除菌仕上げ

風乾燥をする

ヒーターを使わず高速回転で大量の風をとりこみ衣類の水分をとばす省エネ方式です。
洗濯物の干し時間の短縮やプレ乾燥したいときに使用します。
3.5kg以下の化繊混紡衣類なら、洗い～風乾燥まで自動運転でき、約4時間でほぼ乾燥できます。洗濯物をほぐすため、定期的にフラッピング(パルセーター回転)を行います。
「ドライ」コースは、設定できません。

風乾燥時間と衣類の容量(例)

風乾燥時間	ほぼ乾燥できる容量	干し時間を短縮できる容量 6.0kg以下
4時間	化繊混紡の衣類 約3.5kg以下 (例えば、フリース・ジャージ・ワイシャツなど)	例えば、タオルなど綿の衣類が多いときに
2時間	化繊の衣類 約1.0kg以下 (例えば、フリース・ジャージ・ブラウスなど)	例えば、Yシャツなどの混紡が多いときに
1時間		例えば、ジャージなどの化繊の衣類が多いときに
30分	槽乾燥に使用　衣類を入れずに「風乾燥」を行うと標準の脱水より、洗濯・脱水槽の水気を取り除くことができます。	

※洗濯終了後、一度衣類を取り出しほぐして片寄りのないように入れ直してください。
※乾きムラや乾き具合が不足していると感じるときは再度その程度に応じて運転してください。
※入れすぎると衣類が飛び出し、破れる原因になります。

を押すごとに、矢印方向に時間が選べます。

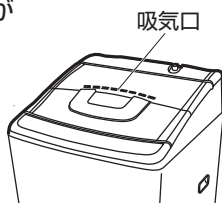
(初期は、30分が設定されます)

お願い

- 上ぶたに風乾燥用の吸気口があります。
  吸気口の上に物を置かないようにしてください。

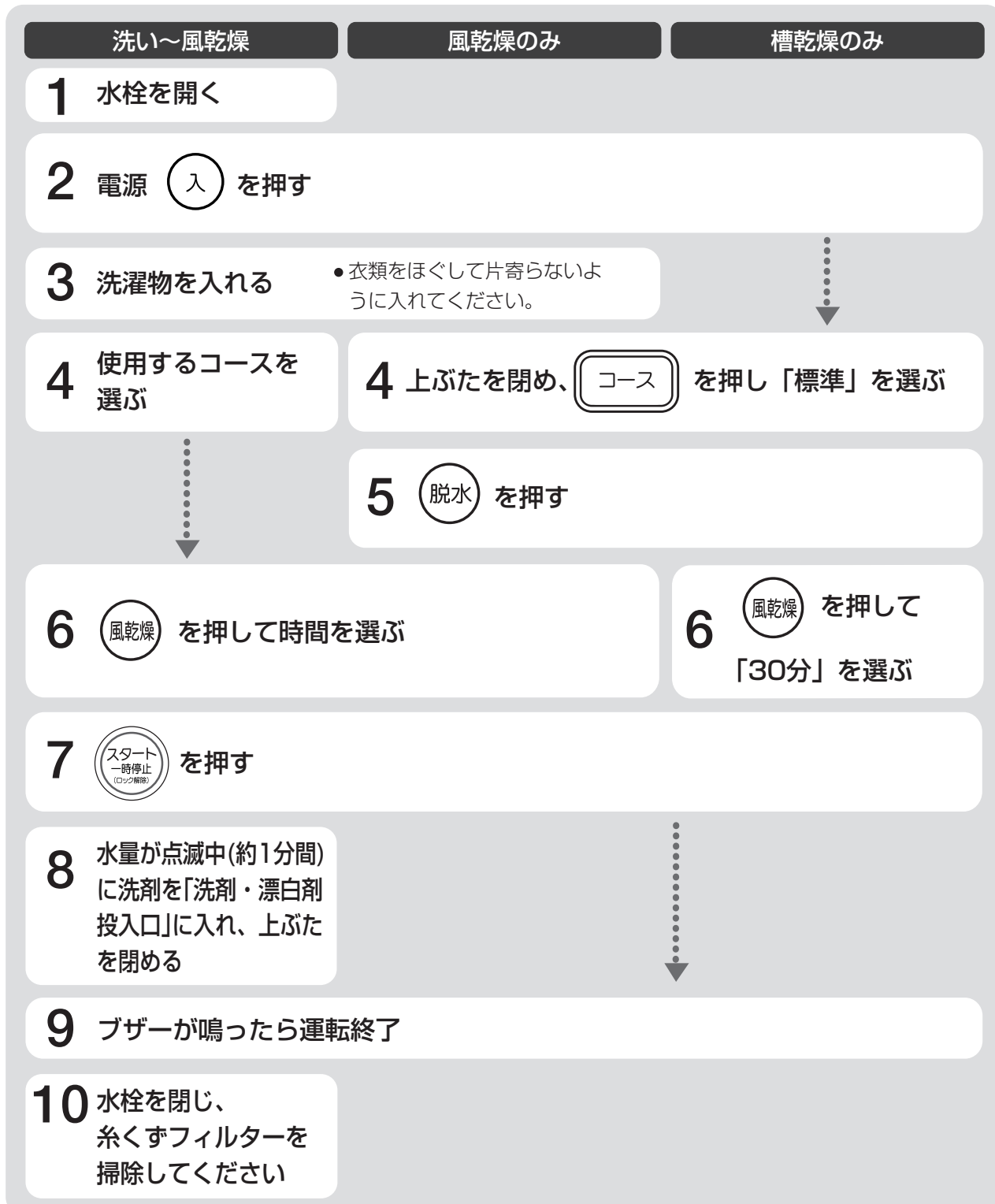
風乾燥できないもの

- **取り扱い絵表示が、下記の衣類**

- **色落ちしやすい衣類**
- **ウールの衣類**
- **シワが気になる衣類** (綿100%シャツなど)
- **型くずれしやすい衣類** (肩パット入りなど)
- **防水性のマット・シートや衣類など** ➡P6
- **毛布・掛けふとん・シーツ**

お知らせ

- 洗濯容量や衣類の種類・気温・湿度によって仕上がり具合が変わります。
- 「風乾燥」は、スタートして約1分後に時間を記憶します。
  電源を入れ、(風乾燥)を押すと前回使用した時間が点灯します。
- (風乾燥)の内容は、洗い終了まで変更できます。
- 洗濯・脱水槽に一度付いた黒カビは「風乾燥」では、取り除くことはできません。
  洗濯槽クリーナーをご使用ください。➡P43
- (風乾燥)を押すと、脱水時間は自動的に1分に設定され変更できません。
- 洗濯終了後、一度衣類を取り出しほぐして片寄りのないように入れ直すことにより、振動が少なく乾きが早くなります。

● 「ふとん・毛布」コースの場合は、洗剤・毛布の入れかたが異なります。➡P26～27

洗い～風乾燥	風乾燥のみ	槽乾燥のみ
1 水栓を開く		
2 電源（入）を押す		
3 洗濯物を入れる　●衣類をほぐして片寄らないように入れてください。		
4 使用するコースを選ぶ	**4** 上ぶたを閉め、（コース）を押し「標準」を選ぶ	
	5 （脱水）を押す	
6 （風乾燥）を押して時間を選ぶ		**6** （風乾燥）を押して「30分」を選ぶ
7 （スタート 一時停止 (ロック解除)）を押す		
8 水量が点滅中(約1分間)に洗剤を「洗剤・漂白剤投入口」に入れ、上ぶたを閉める		
9 ブザーが鳴ったら運転終了		
10 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください		

運転内容をお好みで変更する

各コース内容を変更して、お好みに合った洗濯ができます。
「洗い～すすぎ」まで、「脱水」のみといった使いかたもできます。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- 「ふとん・毛布」➡P26～27「ドライ」➡P24 コースは、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。

2 電源 (入) を押す

3 使用するコースを選ぶ

4 (洗い)(すすぎ)(脱水) を押し、お好みの時間、すすぎ回数を設定する

- 必要に応じ、(風乾燥)(風呂水)(0除菌仕上げ) を設定してください。

5 (スタート 一時停止 (ロック解除)) を押す

6 水量が点滅中(約1分間)に洗剤を「洗剤・漂白剤投入口」に入れ、上ぶたを閉める

- 必要に応じ、ソフト仕上剤、漂白剤を入れます。➡P16～18

(ふたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

たとえば…

：このボタンを押して、お好みの時間や回数を設定してください。　○：このボタンを押して、設定を消灯させてください。

こんなときは	運転内容	「標準」「おいそぎ」「念入り」	「自分流」「ドライ」「ふとん・毛布」
洗いだけしたいとき	洗いのみ 水は残ります	●洗い	●洗い ○すすぎ ○脱水
予洗いしたいとき のりづけしたいとき	洗い→脱水	●洗い ●脱水	●洗い ○すすぎ ●脱水
すすぎの水を再利用したいとき 脱水しない方がよいもの すぐ干さないとき	洗い→すすぎ 水は残ります。	●洗い ●すすぎ	●洗い ●すすぎ ○脱水
すすぎだけしたいとき	すすぎのみ 排水→脱水から始めます。 水は残ります。	●すすぎ	○洗い ●すすぎ ○脱水
すすいで脱水したいとき	すすぎ→脱水 排水→脱水から始めます。	●すすぎ ●脱水	○洗い ●すすぎ ●脱水
脱水だけしたいとき	脱水のみ 水があれば排水から始めます。	●脱水	○洗い ○すすぎ ●脱水
排水だけしたいとき	排水のみ	洗濯・脱水槽内の水を排水したい ➡P37	

設定できる内容は、コースにより異なります。➡P15

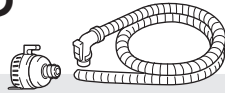
すすぎ	「標準」「おいそぎ」「自分流」	「ドライ」「念入り」「ふとん・毛布」
1回	ため1回	ため1回
注水1回	注水1回	注水1回
2回	シャワー1回＋ため1回	ため2回
注水2回	※シャワー1回＋注水1回	注水2回
3回	ため3回	ため3回
注水3回	注水3回	注水3回
消灯	すすぎなし	すすぎなし

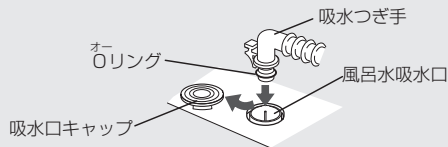
【除菌仕上げ 入設定の場合】最終すすぎが除菌すすぎに変わります。
※1回目のすすぎが注水に変わります。

お知らせ

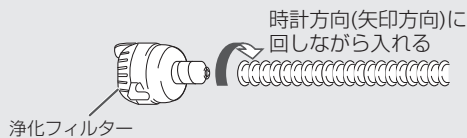
- 「洗剤0（ゼロ）」「電解漂白」コースは、（脱水）の時間のみ変更できます。➡P15
- 「洗い」のみ「脱水」のみの設定は、「洗剤0（ゼロ）」「電解漂白」「カビガード（電解槽洗浄）」コースではできません。
- 洗濯内容と風呂水の設定が違う場合は、洗濯内容で進行します。
  （例）洗濯内容の設定を「洗い」のみ、風呂水の設定を「洗い〜すすぎ1」にした場合、洗濯は洗いで終了します。すすぎは行いません。
- すすぎや脱水から始めるときは、洗濯物の片寄りによる異常振動を防ぐため、洗濯物は均等に入れ、上から手で押さえてください。「U3」を表示した場合は、再度洗濯物を均等に入れ直してください。
- 「ふとん・毛布」「ドライ」コースで注水すすぎを設定した場合、ソフト仕上剤の効果を出すため、最終すすぎ時の始めに注水を止めてためすすぎをします。

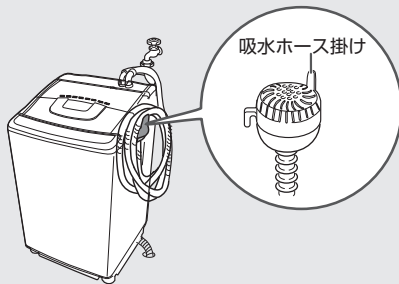
風呂水を使って洗濯するとき

風呂水吸水ホースの取り付けかた

1 吸水口キャップをはずし、吸水つぎ手を風呂水吸水口に差し込む

- 上に持ち上げてはずれないか確認してください。
- O(オー)リングは、はずしたり傷つけないでください。吸水できなくなります。

2 風呂水吸水ホースの長さを調整し、浄化フィルターを差し込む

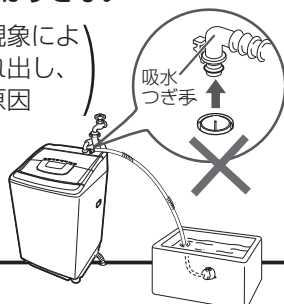
- 吸水中は水の重みで風呂水吸水ホースが垂れ下がるため、長めに調整してください。

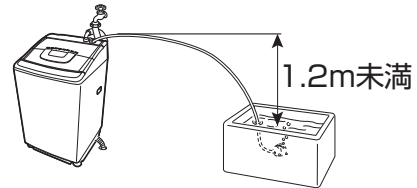
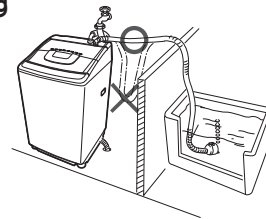
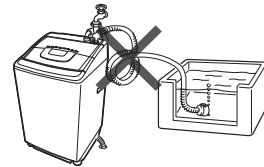
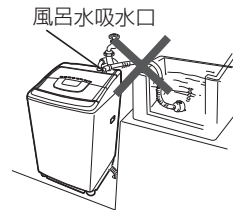
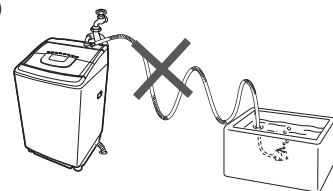
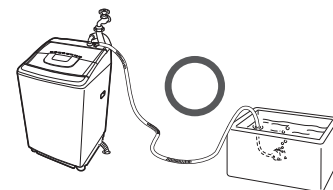
長い場合…浄化フィルター側を切る
短い場合…別売の風呂水吸水ホースを使う ➡P58

収　納

浄化フィルターを製品に掛け、吸水ホース掛けを使って、下図のように収納する

⚠ 注　意

浄化フィルターを浴槽に入れたまま、吸水つぎ手をはずさない

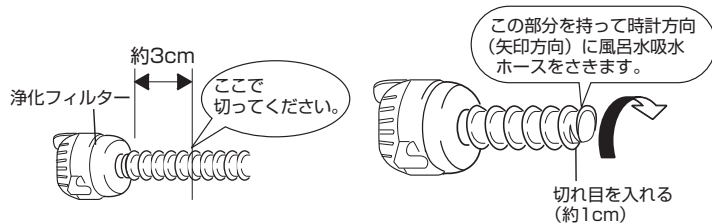
(サイフォン現象により水があふれ出し、床をぬらす原因)

吸水つぎ手

セット時のご注意

▶ 風呂水吸水ホースの最も高い位置から水面までの高さは、1.2m未満にする

▶ 高い壁を越えるときは、風呂水吸水ホースのたるみをなくす
(吸水できない)

▶ 風呂水吸水ホースを巻いたまま使用しない
(吸水できない)

▶ 本体が浴槽の水面より低い位置で使わない
(水があふれる)

▶ 風呂水吸水ホースを波打つように立てない
(吸水できない)

▶ 風呂水吸水ホースを床にはわせる

▶ 吸水できなくなるため、風呂水吸水ホースを傷つけない
▶ 引き戸などで、はさまない
▶ 無理な力をかけたり、引っぱったり、ふんだりしない
▶ コンクリート角やとがった金属物（サッシ窓や浴室ドア）とのこすれに気をつける

浄化フィルターを風呂水吸水ホースからはずしたいとき

1 浄化フィルターの根元から約3cmの所で風呂水吸水ホースを切断する。

2 浄化フィルターに付いている風呂水吸水ホースを取り除く

はじめて風呂水を使う洗濯をするとき

お買い上げ後、初めて使用するときは（風呂水）を押さずに（スタート 一時停止 (ロック解除)）を押し、水道水による給水(約1分間)をしてください。

• 本体内蔵の風呂水ポンプの中に、風呂水を吸い上げる運転に必要な一定量の水を給水させるためです。（呼び水）

風呂水使用回数の設定のしかた

▮点灯　▯消灯

風呂水 ▼	ランプ点灯	洗 い	すすぎ1
1 回押す	▮洗 い ▯すすぎ1	風呂水 ▶	水道水
2 回押す	▮洗 い ▮すすぎ1	風呂水 ▶	風呂水
3 回押す	▯洗 い ▯すすぎ1	風呂水は使用しません	

以下の時は風呂水設定できません

- ●スタート後
- ●「電解漂白」「カビガード(電解槽洗浄)」コースの設定時

(水道水のみ設定のため)

お知らせ

- 風呂水がなくなったり、洗濯途中で正しく吸水しなくなった場合は水道水に切り換わり、選んでいる風呂水洗濯表示を点滅しながら運転を継続します。
- 洗いの最初から風呂水を正しく吸水せず、水道水に切り換わった場合、運転終了後、20分間「U6」が点滅します。

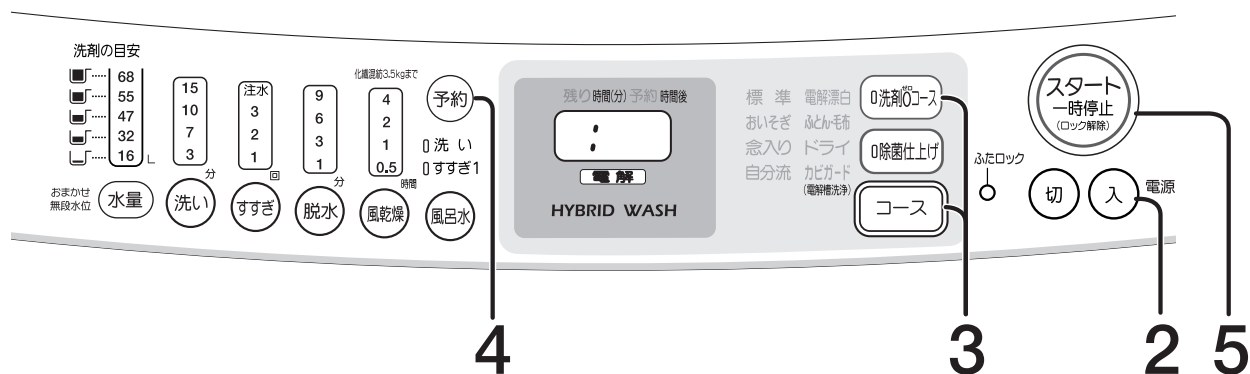
➡P56

- 「標準」「おいそぎ」「自分流」コースで「すすぎ1」まで設定した場合、2回目のすすぎ時に風呂水が数秒間入ります。
  （すすぎ1の時に風呂水吸水が正常に行われたか確認するためです。風呂水吸水をしない場合、ためすすぎを追加します。）
- 「風呂水」は、スタートして約1分後に**設定内容を記憶**します。電源を入れ、（風呂水）を押すと前回使用した内容が点灯します。
- 「洗剤0（ゼロ）」コースは「洗い」のみ風呂水設定できます。

お願い

- **ご使用前は、必ず水栓を開けてください。**
  ・ソフト仕上剤の投入に水道水を使用します。
  ・給水中に風呂水がなくなると、水道水に切り換わります。
- **「洗剤0（ゼロ）」コースで風呂水を使用する場合、入浴剤の入った風呂水はさけてください。**
  入浴剤の種類により電解しない場合があります。
- **入浴剤はソフト仕上剤と反応して衣類にうすい変色をおこすことがあるので入浴剤の注意書を確認してください。**
  変色した場合は、すぐに洗剤を入れて洗濯してください。
- **発泡性のある入浴剤は、ポンプ内部で泡が生じて吸水できない場合があります。**

予約運転をする

洗濯運転の終了時間を、予約することができます。
「ドライ」「電解漂白」「カビガード(電解槽洗浄)」コースは予約できません。

予約待機中の運転内容の確認	(予約) を押す ● 5秒間表示します。
予約の取り消し	電源を切る
予約の変更	一度電源を切って、設定し直す

お願い

- **予約洗濯の前に水栓からの水もれがないことを確認してください。**
- **粉石けんは固まる場合があるので使用しないでください。**
- **漂白剤は酸素系漂白剤を使用してください。**
- ソフト仕上剤は、衣類の上にこぼさないでください。予約の場合は、長時間放置するためシミ・色落ち・傷みの原因になることがあります。水洗いだけで落ちないものは、洗剤をつけてもみ洗いしてください。

お知らせ

- 電源プラグを抜いたり停電した場合は、予約は取り消されます。
- 運転終了時間は、水道水圧、排水条件などにより変わります。
- 粉末洗剤と液体漂白剤を使用する場合は、先に粉末洗剤を入れてください。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- 「ふとん・毛布」コースでは、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。 ➡P26~27

2 電源 (入) を押す

3 使用するコースを選ぶ

- 必要に応じ、 (除菌仕上げ) を設定してください。

4 (予約) を押し、今から何時間後に終了させたいかを選ぶ

- 最長12時間後までを1時間単位で予約できます。

5 (スタート 一時停止 (ロック解除)) を押す

- 約1~2分後に予約表示以外が消灯します。
- 「毛布」コース以外では、水のない状態でパルセーターが回転し、水量を表示します。 布量検知 ➡P12

6 水量が点滅中(約1分間)に洗剤を「洗剤・漂白剤投入口」に入れ、上ぶたを閉める

- 必要に応じ、ソフト仕上剤、漂白剤を入れます。 ➡P16~18

(ふたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

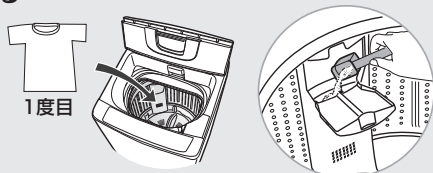
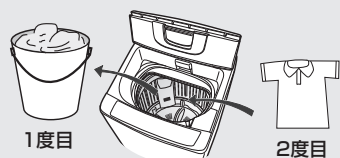
- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

こんなとき

洗濯液を2度使いたい

下記手順とお好み設定➡P32~33をご覧ください。

1度目は汚れの少ないもので、汚れの
ひどいものは2度目に洗いましょう。

1 1度目の洗濯物と洗剤を入れ、[コース]で
お好みのコースを選び「洗い」のみ運転を
する

2 洗濯物を取り出し、2度目の洗濯物を入れる
- 必要に応じて洗剤を追加します。
洗剤は直接、洗濯・脱水槽へ入れてください。

3 [コース]でお好みのコースを選び、水量を設定
し、「洗い→すすぎ→脱水」 運転をする

4 運転終了後、2度目の洗濯物を取り出し、
1度目の洗濯物を戻す
- 洗濯物は均等に入れてください。

5 [コース]でお好みのコースを選び、水量を設定
し、「すすぎ→脱水」 運転をする

すすぎの回数を1回に設定したい

- お好みで「洗い」時間、「すすぎ」回数、「脱水」時間を
設定します。その際に「すすぎ」の設定回数を1回に
します。 ➡P32
- 「自分流」コースのみ、設定内容を記憶します。➡P28

運転途中で変更したい

■水量……すすぎ終了まで変更できます。
(但し、「洗剤0(ゼロ)」コース、「除菌仕上げ」設定時
は、洗い終了まで)

■洗い内容……洗い開始まで変更できます。

■すすぎ・脱水・風乾燥内容……洗い終了まで
変更できます。

- 「除菌仕上げ」設定時は脱水なしにはできません。
- コースにより変更を受け付けない行程があります。
切り換えの範囲 ➡P15

■その他の変更……電源を切り、再び「入」にし
てから設定し直してください。

終了ブザー音を消したい

電源「入」の状態で を約4秒間押し
続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了

再び鳴らしたいとき ▶ 上記と同じ操作をする
- 「ピピッ」と鳴り、設定完了

洗濯・脱水槽内の水を排水したい

1 電源「入」の状態で[すすぎ]を約4秒間押し
続ける
- 「ピー」と鳴り、設定完了

2 上ぶたを閉め[スタート 一時停止 (ロック解除)]を押す
- ふたロックをし、排水開始

こんなとき（つづき）

凍結の恐れがある

運転後も給水ホースや風呂水吸水ホース、洗濯・脱水槽内には水が少し残っています。
気温が低くなると、その水が凍結してしまうことがあります。

防止方法

その1 凍結防止（残水排水）をはたらかせる

残っている水を運転終了9分後に、自動で排水します。
設定すると運転終了してから10分間「Ud」を表示します。

電源「入」の状態で

を約6秒押し続ける

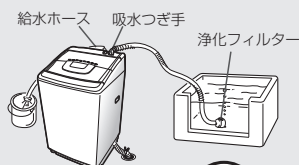
- 「ピー」と鳴り、設定完了

解除 ▶ **上記と同じ操作をする**

- 「ピピッ」と鳴り、解除完了

その2 給水ホース・風呂水吸水ホース・排水ホースの水を抜く

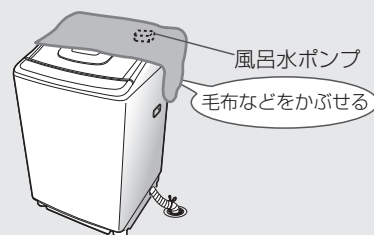
1. 水栓を閉め、上ぶたを閉める
2. 電源を入れ、[コース]で「標準」を選び

を押す
3. [スタート 一時停止（ロック解除）]スタートし、すぐに電源を切る
   給水ホース内の水圧を下げて水の飛び散りを防ぐため
4. 給水ホースの水栓側をはずし、バケツなどで給水ホースから出る水を受ける
5. 浄化フィルターを浴槽から取り出す

6. 電源を入れ、

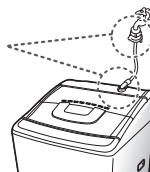
で「標準」を選び

を押す
7. [スタート 一時停止（ロック解除）]を押し、約1分後に電源を切る
   - 風呂水吸水ホース内の残水を吸い上げるためです。
8. 吸水つぎ手を風呂水吸水口からはずし、バケツなどで風呂水吸水ホースから出る水を受ける
9. 電源を入れ、[すすぎ]を「ピー」と鳴るまで4秒間押し続け、[スタート 一時停止（ロック解除）]を押す
   - 洗濯・脱水槽内の水を排水するためです。

その3 風呂水ポンプ部を保温する

- 風呂水ポンプには常に水が入っています。本体の後ろ上部に毛布などを掛けて保温してください。

凍結したとき…

1. 接続部を暑い蒸しタオルで包む

蒸しタオルで包む

2. 給水ホース・風呂水吸水ホース・浄化フィルターをお湯（45℃未満）につける
3. 約2Lのお湯（45℃未満）を洗濯・脱水槽に入れ、約10分間放置する
4. 給水ホース・風呂水吸水ホースをつないで水栓を開き、次の内容を確認する
   - 手でパルセーターが回せるか
   - 運転して給水・排水するか
   - 風呂水を吸水するか

お願い

風呂水ポンプ・風呂水吸水ホースなどは凍結した状態で使わないでください。
（故障の原因）

自動設定水量を調節したい

自動で決まる水量を、少なめや多めに調節することができます。洗濯をする前にあらかじめ設定してください。

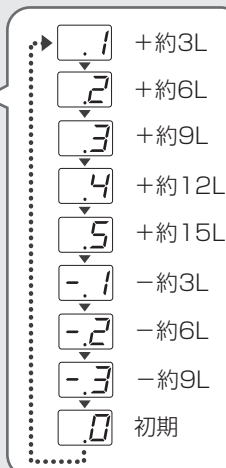
1 電源「切」の状態で 0除菌仕上げ を押しながら、

電源 入 を押し、そのまま を

約4秒間押し続ける。

- 「ピー」と鳴り、L: 0 を表示します。

2 0除菌仕上げ を押して調節する

- 押す度に調節する水量が変わります。

3 電源を切る

- 設定内容は電源を切っても記憶しています。

解除 ▶ 上記と同じ操作をする

- L: 0 (初期)に設定する

チャイルドロックを設定したい

お子さまの安全のため、運転停止中や電源「切」のときも、上ぶたが開かないようにすることができます。

電源「入」の状態で コース を約4秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了
- チャイルドロック設定時には、運転スタート前や一時停止中、表示部に「UL」と表示します。

解除 ▶ 上記と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、解除完了

洗剤・漂白剤投入口の位置を変えたい

布量検知後の水量ランプ点滅中、洗濯・脱水槽を手で回しやすくします。

布量検知 ➡P12

電源「切」の状態で 0洗剤0コース を押しながら、

電源 入 を押し、そのまま を

約4秒間押し続ける。

- 「ピー」と鳴り、設定完了

解除 ▶ 上記と同じ操作をする

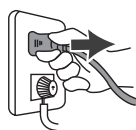
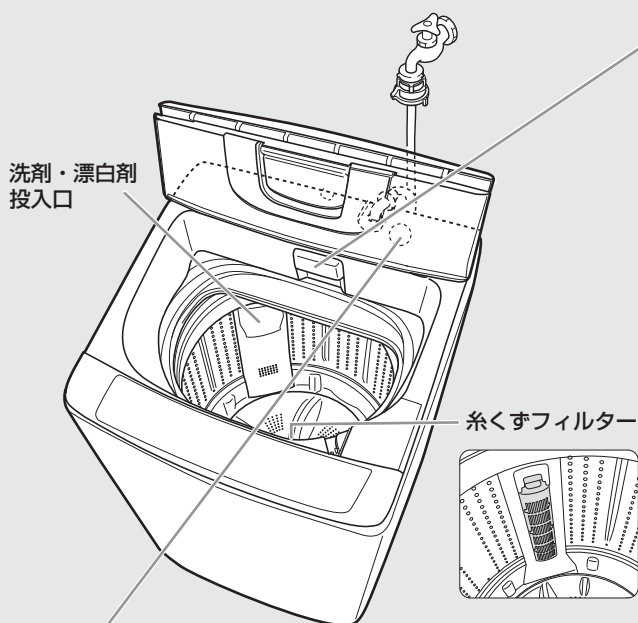
- 「ピピッ」と鳴り、解除完了

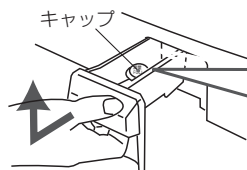
ご注意

洗剤をあらかじめ水や湯で溶かして入れる場合は、設定しないでください。

お手入れ

⚠ 警 告

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
(感電・けがの原因)

本体各部に直接水をかけない
(感電・火災・故障・変形の原因)

必要に応じて　ソフト仕上剤投入容器

1 手前に引き出し、持ち上げてはずす

お手入れ後、キャップは必ず底につくまで押し込んでください。
(ソフト仕上剤が自動投入できなくなります。)

2 水洗いする

3 斜め上からはめこみ、押して閉める

お知らせ

- ご使用前は、ソフト仕上剤投入容器をはずし、水を捨ててください。
- 洗濯終了後、ソフト仕上剤投入容器内をセルフクリーニングした水が残っていることがあります。

月1回程度　風呂水吸水口 (ポンプフィルター)

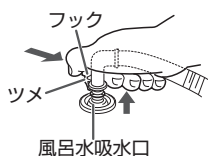
洗濯物は、洗濯・脱水槽から出しておいてください。

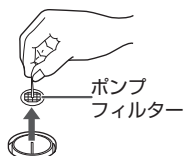
ご注意

- ゴミが詰まったまま運転すると、風呂水の吸水が悪くなります。
- 指や異物を入れたり、水栓からのホースをつながないでください。(感電・故障の原因)
- ポンプフィルターは、必ず取り付けてください。
(風呂水ポンプの故障の原因)

1 浴槽から浄化フィルターを出し、排水できる所に置く

2 フックを指で押し、ツメをはずしてゆっくり持ち上げる

(水の飛び散りを防ぐため)

3 ポンプフィルターを取り出し、ゴミを洗い流す

- 芯棒を前後左右に倒し気味にすると簡単に取り出せます。

必要に応じて　本 体

水滴・糸くず・汚れがついたら…

- 水、またはぬるま湯で湿らせたやわらかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤か石けん水をお使いください。

洗濯・脱水槽の上部・上ぶたの汚れなども拭き取ってください。

ご注意

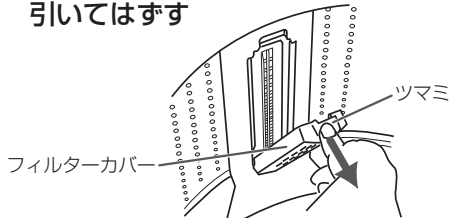
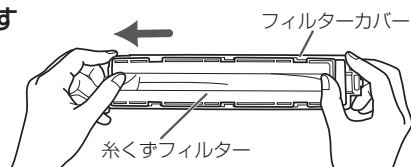
- 住宅用合成洗剤(マジックリンなど)・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。
プラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。

洗剤・ソフト仕上剤がついたら …

上ぶたなどのプラスチック部分に洗剤・ソフト仕上剤がついたら、水、またはぬるま湯を含ませたやわらかい布ですぐに拭き取ってください。
放置するとプラスチック部品が割れる原因になります。

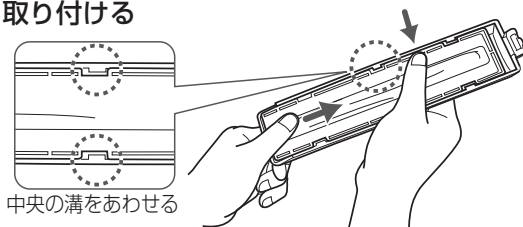
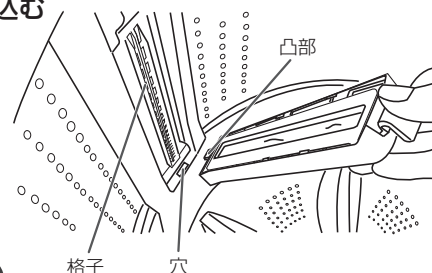
毎回 糸くずフィルター

ネットが目詰まりすると、ゴミが取れにくくなります。

1 ツマミを下に押さえながら上側を手前に引いてはずす

2 フィルターカバーから糸くずフィルターをはずす

3 ネットを裏返して糸くずを取り除いてから、水中でネットを洗う

●裏返したネットは、元通りにしてください。

（ネットが乾いているときは、ネットを裏返すだけで簡単にゴミをはがし取ることができます。）

4 糸くずフィルターをフィルターカバーに取り付ける

5 凸部を槽内の穴に差し込んでから全体を押し込む

お願い

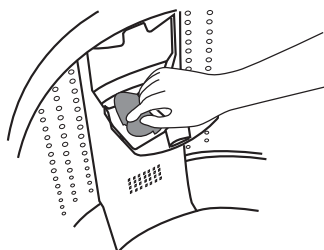
衣類が傷む恐れがあるので、糸くずフィルターは必ず取り付けて洗濯してください。

お知らせ

- 糸くずをためたまま洗濯をすると糸くずフィルター取り付け部の格子裏側に糸くずが付着し、糸くずが取れにくくなります。お手入れは毎回行ってください。
- 糸くずフィルターは消耗部品です。お買い上げの販売店、または当社[総合相談窓口]にご相談のうえ、お買い求めください。 別売 ➡ P58

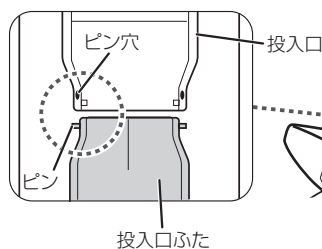
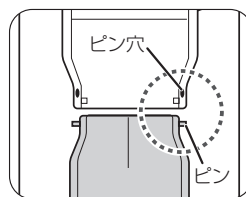
必要に応じて 洗剤・漂白剤投入口

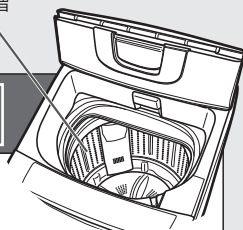
洗剤などがこびり付いた場合は、手前に倒し柔らかい布で拭き取ってください。

●こびり付きがひどい場合は、ホースで水をかけながら、布で拭き取ってください。

お願い

- ●洗剤・漂白剤投入口を手前に倒した状態で無理な力を加えないでください。はずれる場合があります。
- ●閉めるときは、両側のツメが「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。
（両端を交互に押すと軽く閉まります。）
- ●洗剤・漂白剤投入口を使用しないときは、必ず閉じてください。衣類がひっかかり破損する恐れがあります。

はずれたとき

1 投入口の左側のピンをピン穴に差し込む

2 右側のピンをピン穴に差し込む

お手入れ（つづき）【洗濯・脱水槽】

洗濯・脱水槽

月1回程度 カビを予防する カビガード(電解槽洗浄)コース

■食塩を入れ、電解水で洗濯・脱水槽内の黒カビを予防する※コースです。

お知らせ

- 電解中は 電 解 が点滅します。
- 「カビガード(電解槽洗浄)」コースは、運転内容の変更はできません。風乾燥設定のみ可能です。
- 高水位付近のカビを予防するため、68Lより約4cm高く給水します。
- 洗濯槽クリーナーを使用したり、食塩を入れすぎると、下記どちらかの運転をします。
  - 「カビガード(電解槽洗浄)」コースは運転せず、「UC」を表示し、排水→脱水→注水→排水→脱水して終了します。
  - 一度排水し、給水して再度運転します。
- 水質により、「UC」を表示する場合があります。そのときは、食塩の量を減らしてください。
- 黒カビ・石けんカスが発生した場合は、洗濯槽クリーナーをご使用ください。➡P43
- つけおき中は、濃度を均一にするため、時々かくはんします。
- 井戸水は使用できません。

ご注意

- 洗濯物は入れないでください。衣類を傷めたり、色落ちの原因になります。
- 24時間以上、食塩水を入れたまま放置しないでください。故障の原因になります。

※
試験依頼先　(一財)日本食品分析センター
試験の方法　寒天平板培養法
除菌の方法　電気分解

運転前

- 「カビガード」コースでは、洗濯槽クリーナーを使用しないでください。
- 糸くずフィルターを掃除してください。
- 窓を開けるか換気扇を運転して、換気を十分にしてください。

1 水栓を開き、電源 入 を押す

2 コース を押し、「カビガード(電解槽洗浄)」を選ぶ

3 上ぶたを開けたま、スタート一時停止(ロック解除) を押す

4 給水が止まったら、洗濯・脱水槽内に食塩(4g)を入れ、上ぶたを閉める

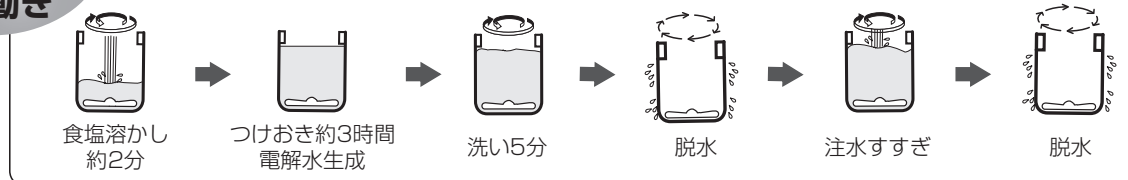
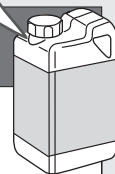
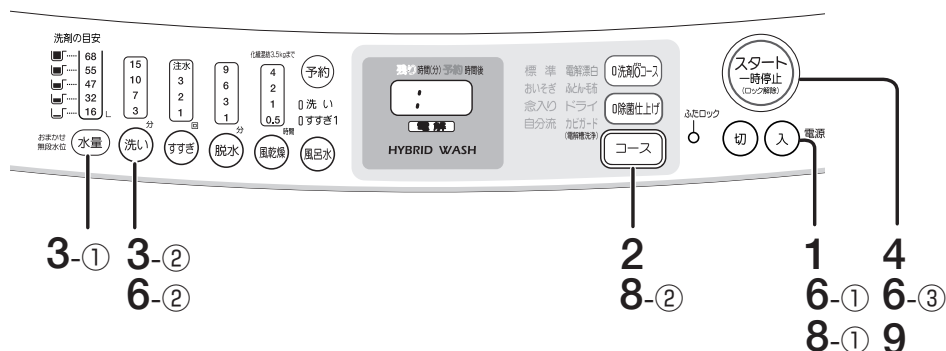
- ふたが開いているため、「ピピッ」音と共に「U4」を表示します。ふたの閉め忘れ防止のためです。ふたを閉めると運転が始まります。

付属の計量スプーン すりきり一杯約4g

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

コースの動き

洗濯槽クリーナーは、
「カビガード」コースで
使わないでください。

必要に応じて　黒カビ・石けんカスが発生した場合

■洗濯槽クリーナー(SWCLEAN-1)を使用する方法です。別売 ➡P58
洗濯物は入れないでください。

運転前

- 刺激臭がします。換気を十分にしてください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書をよくお読みください。
- 糸くずフィルターを掃除してください。
- ゴム手袋をして肌を保護してください。

運転後

- 浮き出た石けんカスは拭き取ってください。

1. 水栓を開き、電源（入）を押す
2. （コース）を押し、「標準」を選ぶ
3. ①水量「68L」、②洗い「3分」を設定する　お好み設定 ➡P32
4. （スタート 一時停止）を押す
5. 給水が止まったら洗濯槽クリーナーを全て【1.5L】を入れ、上ぶたを閉める
6. 運転終了後、水を追加する
   ① 電源を入れ、②「ピー」と鳴るまで（洗い）を4秒以上押し続ける
   ③（スタート 一時停止）スタートする
   最高水位より上の石けんカス(汚れ)を取るため自動的に1分間給水します。
7. 12時間つけおきをする
8. ①電源を入れ、②（コース）で「ふとん・毛布」を選ぶ
9. （スタート 一時停止）を押す

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

お知らせ

- **運転途中に「約12時間」つけおきをします。**
- 湿気の多い場所では上ぶたを開け、できるだけ内部の水分を蒸発させて石けんカスのカビなどの発生を防ぎましょう。

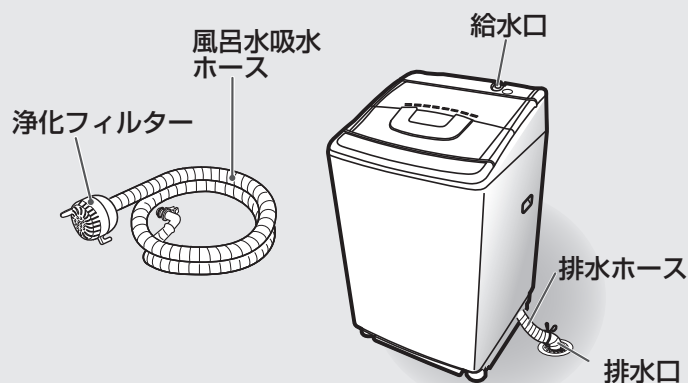
ご注意

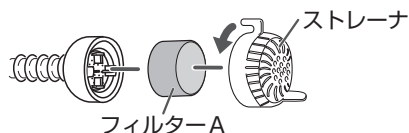
- 24時間以上、洗浄液を入れたまま放置しないでください。(故障の原因)

必要に応じて　さびがついた場合

やわらかい布かスポンジにクリームクレンザーをつけ、さびを拭き取ってください。

- 金属たわしなどは傷める原因になるため、使わないでください。
- 赤さびの混じった水やヘアピンなど、さびやすいものを入れたり長時間水を入れたまま放置しないでください。(さびの原因)

お手入れ（つづき）

週1回程度 浄化フィルター

1 ストレーナを左に回してはずす

2 ストレーナとフィルターAを水洗いする

3 ゴミを毛のかたいブラシなどで取る

お知らせ

- フィルターAは消耗部品です。
  販売店、または当社 総合相談窓口 にご相談のうえ、お買い求めください。 別売 ➡P58
- ゴミが詰まったまま使用すると、風呂水の出かたが悪くなり、吸水量不足で水道水に切り換わる場合があります。

ときどき 排水口・排水ホース

排水口・排水ホースに糸くずなどが詰まると、排水できなくなる恐れがあります。

- 定期的に糸くずを取り除いてください。

給水口

水の出が悪くなったら…

ご注意
井戸水などは不純物が多くゴミがたまりやすいため、早めにお手入れをしてください。

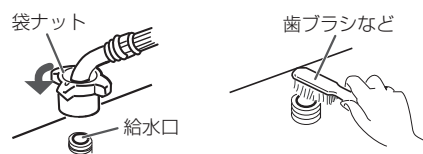
1 水栓を閉め、電源 入 を押す

2 コース を押し、「ドライ」を選ぶ

3 スタート 一時停止 (ロック解除) を押す

給水ホース内の水圧を下げて水の飛び散りを防ぐため

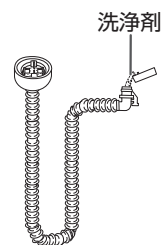
4 電源を切る

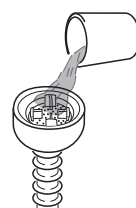
5 袋ナットをゆるめてはずし、ゴミを歯ブラシなどで取り除く

月1回程度 風呂水吸水ホース

一般家庭用に市販されている浴室などの排水口用洗浄剤をお使いください。

1 ストレーナを左に回してはずす
左記　浄化フィルター **1** 参照

2 両端を持ち上げたまま、洗浄剤を風呂水吸水ホースに入れる

- 軽く振り、内部までまんべんなく移動させてください。

3 ぬるま湯(約30℃)を流し込む

- コップ一杯分(約200mL)のぬるま湯を流し込み、バケツなどに入れ、約6時間放置してください。

4 風呂水吸水ホースの内部を水道水ですすぐ

据え付け

この据え付けかたどおりに設置・取り付けをしないと事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。

据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
据え付け後は、必ず試運転をして、水もれ・異常音などが発生しないことを確認してください。➡P52

⚠ 警告

浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
(感電・火災・故障・変形の原因)

定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使う
(火災・感電の原因)

■次のような場所には、設置しないでください。

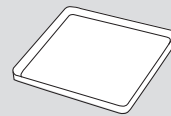
- 直射日光のあたる場所
  (プラスチック部品の変色・変形の原因)
- 冬期に凍結の恐れのある場所
- 平らでない床・弱い床・凸凹な床の上
  振動や騒音が大きくなります。床が弱いときは、販売店にご相談ください。
- 高い置台の上
  (底部と床の隙間から、お子さまなどが手を入れ、けがをする原因)
- 包装用台座は据え付け台として使わない
  (本体故障の原因)

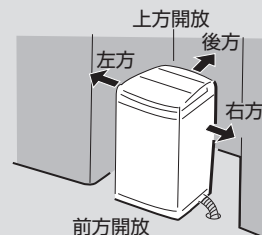
お知らせ

- 排水口は、糸くずや汚れがたまりやすく、放置しておくと臭いの原因になります。
  据え付け前に排水口の掃除をしてください。
- 出荷時の検査で、洗濯・脱水槽内に水滴が残っていたり、排水ホース接続口から水が少々出ることがあります。故障や不良ではありません。

洗濯機トレーの使用をおすすめします。

気温と水温の差が大きいとき、本体の内側に結露(露つき)が生じます。
この結露や水はねで床面をぬらすことを防止するためです。

別売 ➡P58

前方や上方を開放して、壁面から表の寸法以上離すこと

異常な振動や音を防ぐためです。

場所	離隔距離(cm)
左方	※1.5
右方	※1.5
後方	1.5
下方	0

※排水ホース接続側は、壁から8cm以上
真下排水パイプを使用した場合は、排水側は壁から15cm以上

テレビ・ラジオなどの家電製品を近づけない

画像が乱れたり、雑音の原因になります。

しっかりした水平な床に据え付ける

傾斜した床や弱い床、不安定な台の上は振動や騒音が大きくなります。

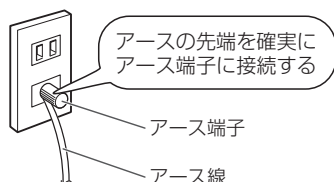
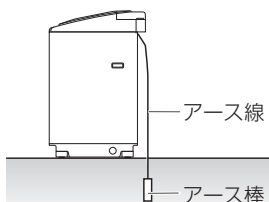
アース

アース工事は有料です。

⚠ 警告

万一の感電防止のため、アース線を確実に取り付ける

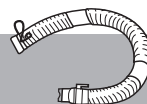
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。また、漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。
(詳しくはお買い上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。) アースの付けはずしは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。設置場所の変更や転居の際にも、必ずアースを取り付けてください。

コンセントにアース端子がある場合

コンセントにアース端子がない場合

法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。お買い上げの販売店、または当社 総合相談窓口 にご相談ください。 ➡P60

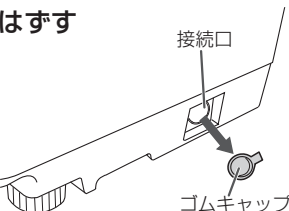
お願い

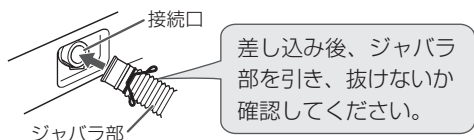
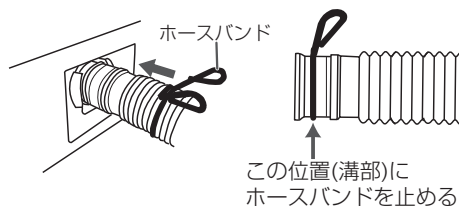
ガス管、電話線や避雷針、水道管には接続しないでください。
(法令などで禁止されています。)

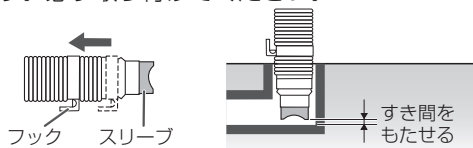
据え付け（つづき）

排水ホースの取り付け

お願い
- 取り付けは、確実に行ってください。
- 正しく取り付けないと、使用中に排水ホースが抜けて、水もれの原因になります。
- 排水口にゴミなどが詰まっていると排水できません。設置前には、必ず排水口の詰まりを取り除いてください。

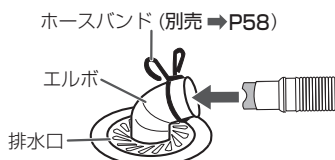
1 本体右側のゴムキャップをはずす

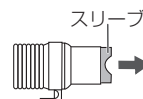
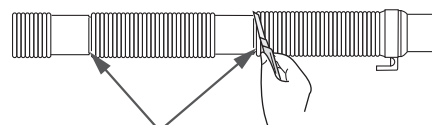
- 接続口から水が出ることがあるため、タオルなどを用意してください。工場での性能テスト時の残水で故障や不良ではありません。

2 排水ホースを接続口に差し込み、止まった所から更に「カチッ」と音がするまで差し込む

- 排水ホースの抜け防止用の凸部が接続口にあるので強く押し込んでください。

3 ホースバンドを下図の位置に移して止める

4 フックをずらし、排水口に差し込む

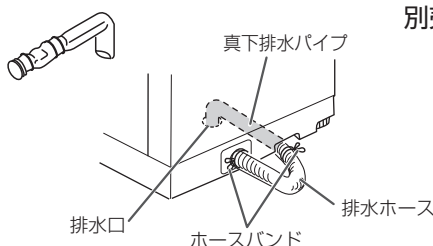
- スリーブは、排水ホースの先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてください。

排水ホースは、排水時の水の力や振動などで動く場合があるため、排水口にしっかり差し込み、抜けないことを確認してください。

■排水口がエルボの場合

排水ホースの先端部をエルボにしっかり差し込み、ホースバンドでエルボに確実に固定してください。

排水ホースが長すぎる場合

1 スリーブをはずす

2 排水ホースの溝部を切る

3 排水ホース先端にスリーブを差し込む

排水口が本体の下にある場合

真下排水パイプをお買い求めください。
別売 ➡P58

床の状態や排水口の位置などによりどうしても取り付かない場合には、高さ調整脚と合わせてご使用ください。　別売 ➡P58

お願い

下記の内部排水ホースの取り付けは、絶対にしないでください。内部排水ホースが破れて水もれしたり、異常音の原因になります。

- 内部排水ホースを直接、排水口に入れたりしない
- ホース固定用のツメをはずさない

排水ホースの付け換え

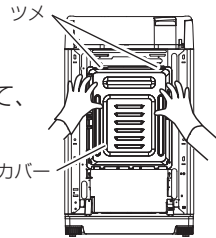
排水ホースは、左側に付け換えることができます。

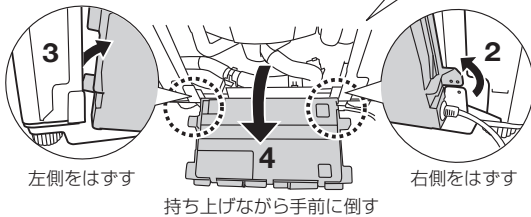
お願い ●電源プラグをコンセントから抜き、付け換え作業をしてください。
正しく取り付けないと、水もれの原因になります。

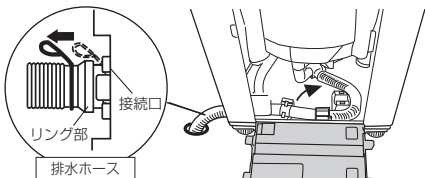
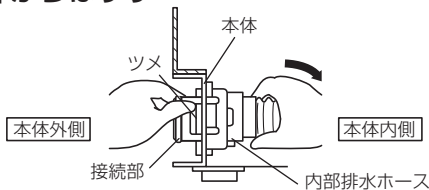
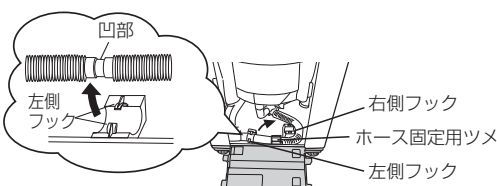
警　告

けがを防ぐために、付け換え作業は必ず手袋をしてください。

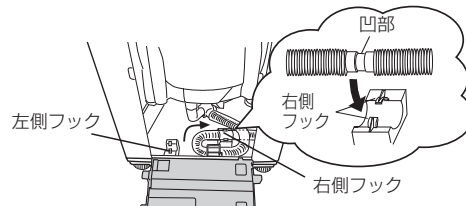
1 後カバーをはずす

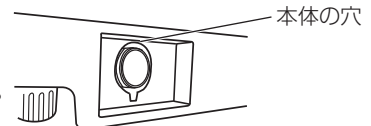
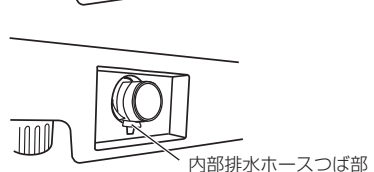
①ネジをはずす。(4本)
②上側のツメ2ケ所をはずして、後カバーを上へ持ち上げてはずす。

2 基板をはずす

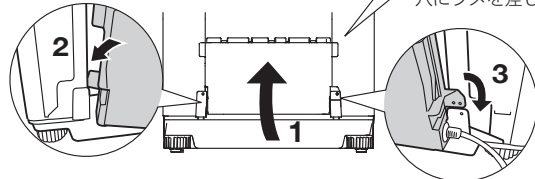
①ネジをはずす。(4本)
②上両端のツメ(2ケ所)を本体の各穴から抜き、基板を上側にずらして本体からはずし、手前に傾ける。

3 排水ホースをはずす

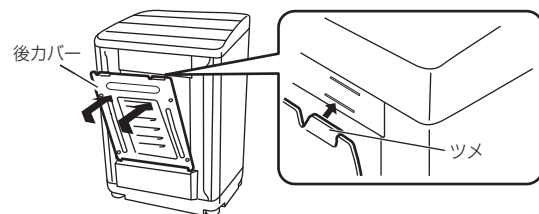
●排水ホースは、ホースバンドをリング部の方向にずらしてからはずす。

4 接続部のツメ上部を強くつまみ、内部排水ホースを下側(矢印方向)に動かし、本体からはずす

5 内部排水ホースを左側フックからはずす

ご注意
●内部排水ホースを固定しているツメは絶対にはずさないでください。
(水もれ、異常振動の原因)

6 内部排水ホースの凹部を右側のフックにはめ込む

ご注意
確実にはめ込まないと水もれの原因となります。

7 内部排水ホースを右側の穴にはめ込む

①内部排水ホースつば部を下側にし、本体の穴に入れる。

②内部排水ホースつば部を本体の外側に引っかけてから上へ持ち上げてはめ込む。

8 基板を取り付ける

●基板を本体に差し込み、下側にずらす。
ツメ(2ケ所)を本体の各穴に差し込み、ネジ(4本)を取り付ける。

9 後カバーをはめ、ネジを取り付ける

●下側を本体の溝にはめてから、上側のツメ2ケ所をはめこみ、ネジ(4本)を取り付ける。

10 接続口に排水ホースを取り付ける ➡P46

●正しく取り付けないと排水ホースが抜け、水もれの原因になります。

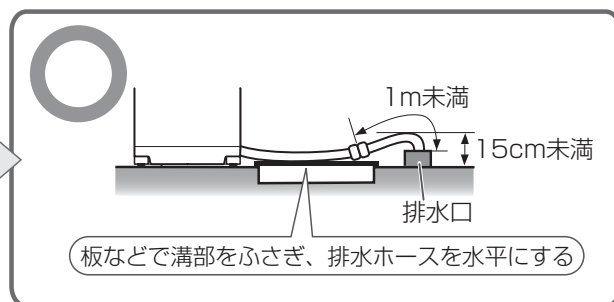
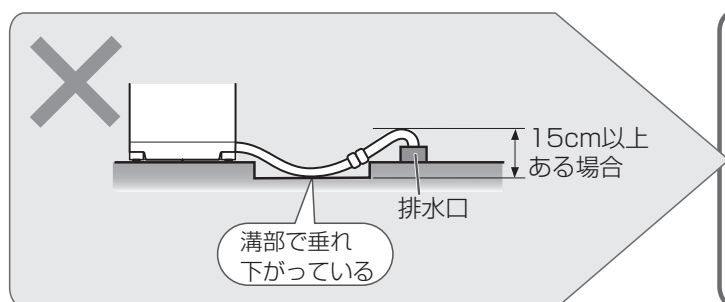
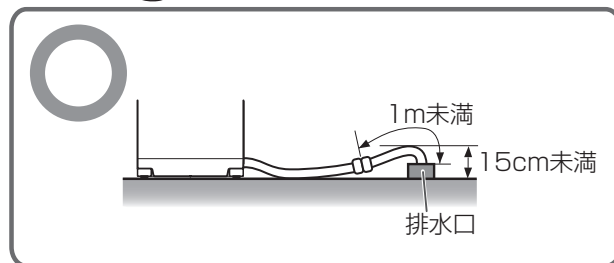
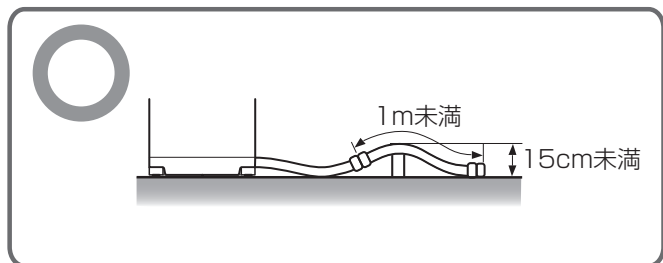
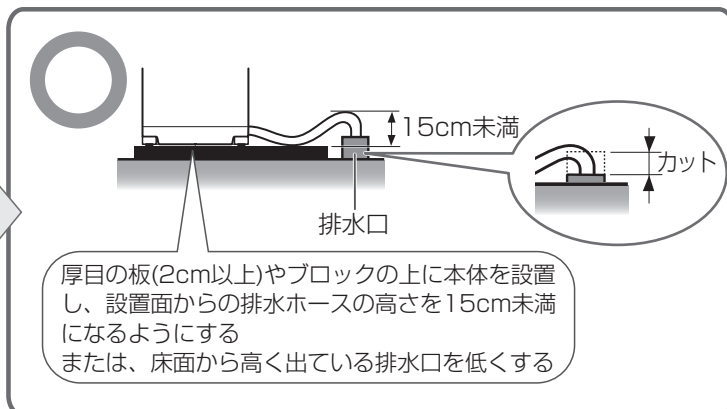
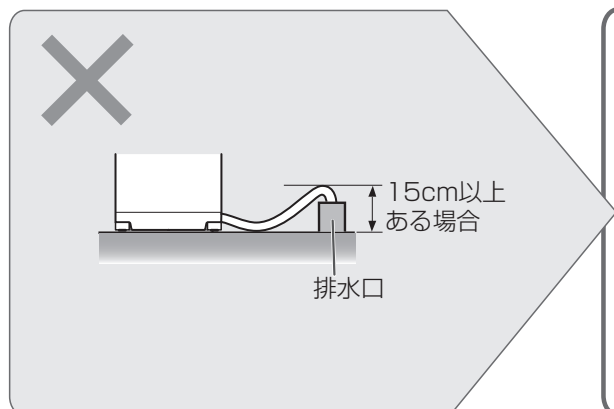
据え付け（つづき）

排水ホースの処置方法

延長する場合

排水ホースを延長する場合や
敷居を越える場合の高さは、
右表に従ってください。

延長ホースの状態	延長ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	15cm未満	1m未満
途中で高くならない場合	−	3m未満

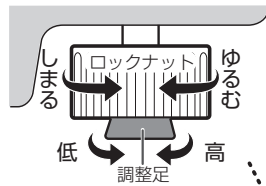
お買い上げの販売店、または当社 総合相談窓口 にご相談のうえ、
排水ホース補修キットをお買い求めください。 別売➡P58

延長しない場合

水平に設置する

※設置場所・設置面の状態により本体が水平に置けない場合があります。
　次の説明をお読みのうえ、調整してください。付属の水準器は大切に保管してください。

ご注意 ● 水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・故障の原因となります。

1 ガタつかないように調整足(前面右1ケ所)の高さを調整する

①ロックナットをゆるめ、調整足を回して高さを調整する

②調整が終わったら、ロックナットを回してしっかり締め付ける

4 本体の対角(右前・左後、および左前・右後)を押さえて、ガタつきがないか確認する

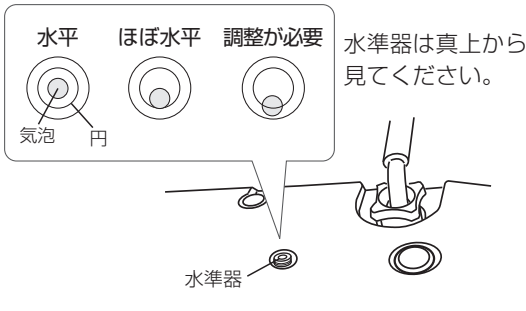
● 気泡が円の中に入っていても、ガタつきがある場合は再調整してください。
(異常振動・騒音・故障の原因)

お願い

調整後、水準器はなくさないよう保管してください。

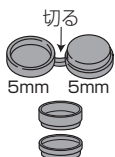
2 下記の場所に付属の水準器を置き、気泡の位置を確認する

◎ 気泡が円の中に入っていない場合
　➡ 付属の高さ調節クッションゴムで調整する。

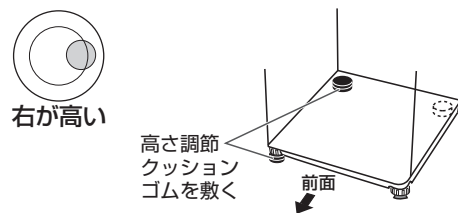
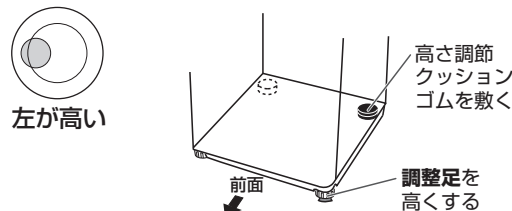
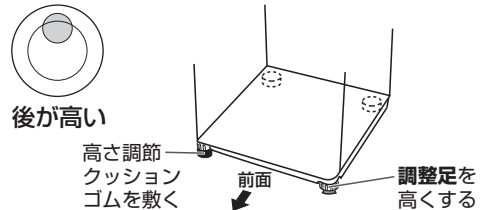
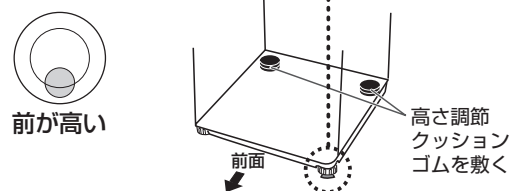
◎ 気泡が円の中に入っている場合
　➡ 調整の必要はありません。

3 気泡の位置に応じ、高さ調節クッションゴムまたは調整足で調節する

● 気泡が片寄っている方向が高くなっています。反対側を高くして調整します。

● 調整足の調整が終わったらロックナットを回してしっかり締め付けてください。

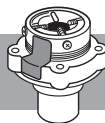
高さ調節クッションゴム

2個セットになっています。
切り離してご使用ください。
1枚で5mm、2枚を重ねて
1cmの高さ調節ができます。

2枚重ねる場合、高さの低い方を下にして重ねてください。

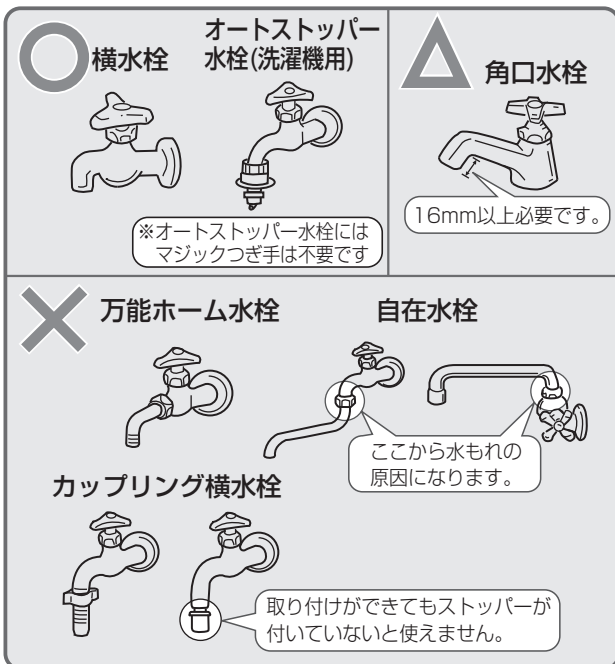
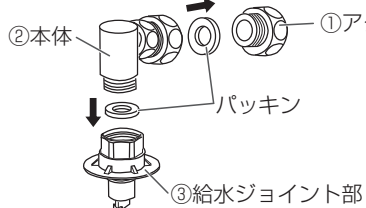
調整方法

◎ 付属の高さ調節クッションゴムだけで調整できない場合は、適当な板材などを敷いて傾きを少なくしてから調整してください。
または、高さ調節クッションゴムをお買い求めください。 **別売** ➡P58

据え付け（つづき）

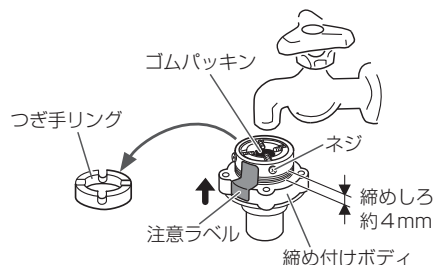
- マジックつぎ手・給水ホースは、付属品または当社専用のものを使用してください。
  確実に取り付けないと、水もれの原因になります。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口より水もれがないか確認してください。

マジックつぎ手

水栓形状

水栓が合わないときは、お買い上げの販売店、水道工事店、または当社 総合相談窓口 にご相談ください。

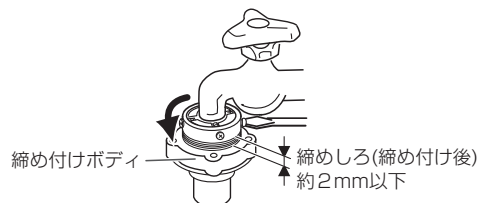
➡P60

取り付けかた

1 ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる

- 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
- 注意ラベルは､締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。

2 水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるように、ネジを均等にしっかり締め付ける

- 壁側になるネジは前もって調整しておくと便利です。

3 注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが 約2mm 以下になるまで強く締め付ける

- 強く締め付けないと水もれする恐れがあります。

ご注意

- **長期間の使用や取り付け状態によりゆるみが生じることで水もれする場合**
  ➡ **1** 図のように締めしろを約4mmにゆるめてから、取り付け直してください。
- **パッキンに蛇口の形が付いていたり､劣化している場合**
  ➡ マジックつぎ手を取り換えてください。
  取り付け直した際は、特にご注意ください。
- **今までお使いのマジックつぎ手があっても､必ず新品と取り換えてください。**

給水ホース

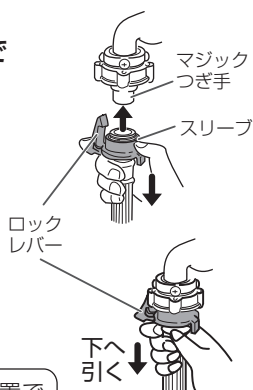
取り付けかた

水栓側

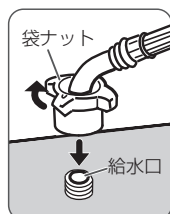
1 スリーブを引き下げたままでマジックつぎ手に差し込む

2 スリーブをはなし、「パチン」と音がするまで差し込む

3 ロックレバーがかかっているのを確認し、給水ホースを下へ引き、完全に取り付いているか確認する

マジック
つぎ手
スリーブ
ロック
レバー
下へ
引く

ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。（水もれの恐れ）

本体側

袋ナットを給水口にあてがい、傾きのないように確実に締め付ける

お願い

取り付け直した際は、特にご注意ください。
確実に締め付けてください。

はずしかた

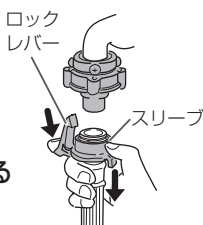
1 水栓を閉め、電源 （入） を押す

2 [コース] を押し、「ドライ」を選ぶ

3 （スタート 一時停止 (ロック解除)） を押す ＜ 給水ホース内の水圧を下げて水の飛び散りを防ぐため

4 電源を切る

5 **水栓側** ロックレバーを押し、スリーブを引き下げて給水ホースをはずし、バケツなどで給水ホースから出る水を受ける

スリーブ

本体側 袋ナットをゆるめてはずす

袋ナット

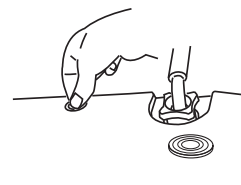
延長のしかた

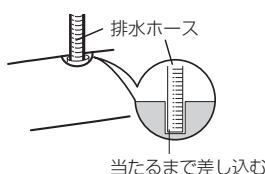
お買い上げの販売店、または当社 [総合相談窓口] にご相談のうえ、専用の給水延長ホースをお買い求めください。

別売 ➡ P58

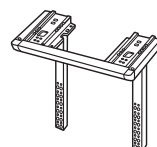
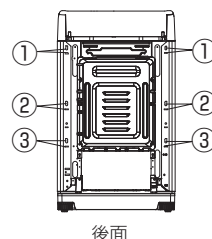
衣類乾燥機（除湿型）と組み合わせる

1 本体上面の「除湿型衣類乾燥機用排水口」のフタを取り除く

- 固い場合は、無理をしないでドライバーなどを差し込んで、上にこじ上げてください。
- フタを取り除いた切り跡でけがをしないように注意してください。

2 乾燥機の排水ホースが使用中に抜けないように排水口の奥まで差し込む

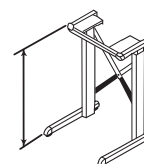
- 差し込みが不十分だと乾燥機の水蒸気が結露することがあります。
- フタを取り除いた切り跡でけがをしないように注意してください。

乾燥機の排水ホースと洗濯機の連結方法は、乾燥機の取扱説明書の「据え付け」の項をご参照ください。

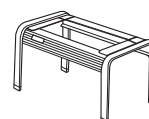
衣類乾燥機専用ユニットを取り付ける

(U–S2)

洗濯機の後面に直接取り付けてください。

- ①と③の穴、左右各２カ所に固定金具（A）、（B）を取り付けてください。
- 水道の蛇口などにより、設置高さを高くする場合は①と②の穴を使用し、専用ユニットの支柱の位置を調節してください。
- 取り付け方法は、U−S2の組立説明書をご参照ください。

(U–F1)

据置タイプ

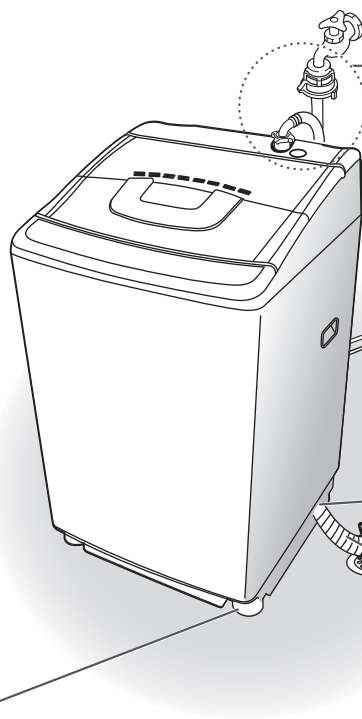
高さ調整　6段階

(U–L1)

床置専用

詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

据え付け

据え付け（つづき）

設置確認・試運転を必ず行ってください。

確認重要箇所

試運転

水もれ・給排水の不具合・異常な音・本体のガタつき・揺れのないことを確認してください。

● 洗濯・脱水槽内には、**何も入れない**で次の手順で試運転をしてください。

1. 水栓を開き、上ぶたを閉め、電源（入）を押す
2. （コース）を押し、「標準」を選ぶ
3. （スタート 一時停止（ロック解除））を押す
4. 約5分間洗い運転をし、**水もれ、本体エラー表示などの異常がないことを確認する**
5. 電源（切）を押す
6. 再度電源（入）を押す
7. （コース）を押し、「標準」を選ぶ
8. （脱水）を押し、「6分」を選ぶ
9. （スタート 一時停止（ロック解除））を押す
10. **異常音・異常振動がなく本体エラー表示などの異常がないことを確認する**
11. 電源（切）を押す
12. 水栓を閉じる

- 異常な音、ガタつき、揺れはでていませんか。
  設置状態のガタつきはありませんか。
- 水もれはありませんか。
  給水ホース、排水ホースの接続部から水滴がにじんだりしていませんか。

故障かな？

以下の症状は故障ではありません。

	症　状	原　因
運転前	据え付け時や初めて使用するとき **排水ホース接続口から水が出る**	● 工場での性能テスト時の残水で故障や不良ではありません。
本体	運転中や電源スイッチを切っても **操作パネル部が暖かく感じる**	● 部品の放熱作用によるものです。
本体	**運転しない**	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか。 ● 電源が入っていますか。 ●「スタート/一時停止」を押しましたか。 ● 停電していませんか。 ● 電源ヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。 ● 予約中ではありませんか。
水量	**洗濯量に対して水量の表示がおかしい** **同じ洗濯量なのに水量が違うことがある**	● 水量は洗濯量で決まります。 ➡ 化繊など軽いものが多いときに少く表示されたり、洗濯物が最初からぬれていると多く表示することがありますが、故障ではありません。
洗い・すすぎ	給水前に **パルセーターが回転する**	● 洗濯量を検知しているためです。　布量検知➡P12
洗い・すすぎ	少ない水量で **パルセーターが回転する**	●「標準」「念入り」「自分流」コースは、洗いの 始めにホイップ泡洗浄を行います。 ➡P19
洗い・すすぎ	洗いやすすぎ中に **給水が始まった**	水量や洗濯物の状態を検知し、うまく洗濯できるようにする補給水機能がはたらいたためです。次の原因が考えられます。 ● 洗濯物を後から追加した。 ● 水量が減り、それを自動的に補う機能がはたらいた。 ● 洗濯物の布回りをよくする機能がはたらいた。 ● ソフト仕上剤を自動的に追加した。 ●「標準」「念入り」「自分流」コースでホイップ 泡洗浄中は水を追加しながら洗います。 ➡P19
洗い・すすぎ	**洗い中に排水する**	● 洗剤を入れすぎませんでしたか。泡が大量に発生すると洗い中でも排水します。 ●「電解漂白」「カビガード(電解槽洗浄)」コースの場合、塩などを入れすぎていませんか。➡P22・42 ●「洗剤0（ゼロ）」コースの場合、予洗いの後に排水します。
洗い・すすぎ	注水すすぎなのに **排水ホースから水が出ていない**	● 水圧が低いときや設定水量が少ないときは、排水されないことがあります。
洗い・すすぎ	注水すすぎなのに **ためすすぎになる**	● 給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐためにためすすぎになります。
洗い・すすぎ	すすぎからスタートすると **水が給水されない**	● 排水➞脱水してからすすぎの給水を始めます。

故障かな？（つづき）

	症　状	原　因
脱水	ためすすぎが追加される（給水する）	● 洗剤量が多すぎたり、排水ホースの途中が高くなるなど排水状態が悪く、うまく脱水できない（脱水の回転が上がらない）ときは、ためすすぎを追加します。　排水ホースを延長する場合 ➡P48
	始めから高速で脱水しない	● 脱水を効果的に行うために、徐々に回転を上げて運転しています。
	脱水の途中ですすぎになる（給水する）	● 洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水します。
風乾燥	乾きが悪い 運転が終了しても乾いていない	● 洗濯物の種類・室温などにより乾燥状態が変わります。タイマー式ですので、乾きに関係なく終了します。 お好みで風乾燥時間を設定してください。➡P30 ● 洗濯容量が多すぎませんか。化繊混紡の衣類で3.5kg以下にしてください。洗濯物の量を少なめにすると、風乾燥の効果が上がります。➡P30 ● 脱水が不十分な衣類を入れていませんか。 ● 化繊混紡以外の衣類が混ざっていませんか。
時間	すすぎ前の排水・脱水時間が長く感じる	● 泡立ちをおさえ、すすぎ性能を良くするため、すすぎ前の排水・脱水を長くしています。
	洗濯時間が長い	● 所要時間は、給水量毎分15Ｌで計算しています。15Ｌ以下であれば、長くなります。水道水圧・排水・脱水状態により、変わることもあります。 ● 除菌仕上げ設定時は、通常の時間より長くなります。 ● あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わる場合があります。
	残時間表示が増えたり、減ったりする	● 残時間表示は、水道水圧・排水・脱水状態により、補正しながら表示しているためです。
風呂水	風呂水を吸水しない 風呂水が吸水できないときは、自動的に水道水に切り換わり、運転を継続します。	● 風呂水使用内容を設定しましたか。 ● 吸水つぎ手は風呂水吸水口に確実に差し込んでいますか。➡P34 ● 風呂水吸水ホースを巻いたり、たるませていませんか。➡P34 ● 風呂水吸水ホースに折れ曲がり・つぶれ・変形・破れ・ひび割れがありませんか。 ● 風呂水吸水ホースの最も高い位置から水面までの高さが、1.2m以上ありませんか。➡P34 ● 浄化フィルターにゴミがたまっていませんか。➡P44 ● 浄化フィルター部が浴槽の水中に入っていますか。 ● 発泡性のある入浴剤を使っていませんか。➡P35 ● 浴槽の中に残り湯がありますか。 ● お買上げ後、初めて風呂水を使うとき、呼び水をしましたか。➡P35

症　状		原　因
除菌仕上げ	お好み設定ですすぎ回数を減らしたのに 除菌仕上げ を押すと設定が変わってしまう	● 除菌仕上げ を押した場合、除菌効果を出すため、自動的に「除菌仕上げ」設定時のすすぎ回数に変わります。
音	運転終了後に「ジー」と音がする	● 凍結防止(残水排水)の設定をしている場合は、凍結を防ぐため、排水バルブの水抜き音がします。 凍結防止の方法 ➡P38
音	脱水終了後に「シャー」「チャプチャプ」と音がする	● 本体の振動を抑えるために、洗濯・脱水槽上部に入っている液体の音です。脱水終了後や洗濯・脱水槽を手でゆらしたときに **「シャー」「チャプチャプ」**という音がすることがありますが、異常ではありません。
臭い	異臭がする	● ゴム部品を使っているため、はじめはゴムの臭いがしますが使用するにつれてなくなります。 ● 洗濯・脱水槽に付着している石けんカス、黒カビなどで臭いが発生する場合があります。 処置 • 洗濯槽クリーナーで槽の洗浄をしてください。➡P43 • 時々、槽乾燥をご使用いただくと臭いの発生を防ぐことができます。 ➡P30 • 普段使わないときは、上ぶたを開放し風通しをよくしてください。 ● 排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。 処置 • 定期的に排水口を掃除してください。 • 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。
その他	衣類が黄変する	● 水道水のさび・粉石けんや洗剤の残り・色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。 塩素系漂白剤や還元型漂白剤をご使用ください。
その他	糸くずの付着が気になる 洗濯の前に ➡ P11	● すすぎ回数を増やしたり、注水すすぎをおすすめします。 ● 水量を多めに設定してください。 ● 糸くずフィルターを掃除してください。
その他	ソフト仕上剤がこぼれて出てしまう	● ソフト仕上剤投入容器のキャップの「満量 FULL」よりも多くソフト仕上剤を入れていませんか。サイフォン現象により流れ出ます。
その他	洗濯の途中なのに運転が止まってしまった	● 上ぶたが閉まっていますか。 ● 脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄りすぎていませんか。 ● お好み設定方法を間違えていませんか。 ● 「除菌仕上げ」を設定していませんか。除菌すすぎのつけおき中はパルセーターが止まります。 以上の原因でないときは、**こんな表示がでたら** ➡P56~57 を確認のうえ、お買い上げの販売店、または当社 修理相談窓口 にご相談ください。➡P60

こんな表示がでたら

表　示	調べるところ	処　置
E 1 給水できない	●水栓を開いていますか。 ●給水口の網にゴミなどが詰まっていませんか。➡P44 ●水道・給水ホースが凍結していませんか。➡P38 ●断水していませんか。 ●井戸水を使っていませんか。➡P44	一時停止後、異常原因を取り除き、スタートする
E 2 排水できない	●排水ホースの確認 ・倒し忘れたり、つぶれていませんか。 ・立ち上がりは15cm未満になっていますか。➡P48 ・排水口がふさがれていませんか。➡P46 ●排水口（フィルターやトラップ部）に糸くずなどが詰まっていませんか。	一時停止後、異常原因を取り除き、スタートする
U 3 脱水できない	●洗濯物が片寄っていませんか。 ●本体が傾いたり、ガタついていませんか。➡P49	一時停止後、洗濯物を均等に直し、スタートする
U 4 運転できない (一時停止している)	●上ぶたが開いていませんか。	上ぶたを閉める
U 6 洗いのときに風呂水を正しく吸水できない 異常報知しても、自動で水道水に切り換わり運転を継続します。 ……… ▮洗 い ▮すすぎ1 風呂水を正しく吸水しない 選んでいる風呂水表示を点滅しながら、自動で水道水に切り換わり運転を継続します。	●吸水つぎ手は風呂水吸水口に確実に差し込んでいますか。➡P34 ●風呂水吸水ホースの確認 ・余分に長いホースを巻いたり、たるませていませんか。 ・折れ曲がったり、つぶれたりしていませんか。 ・破れていませんか。 ●ポンプフィルターや浄化フィルターにゴミがたまっていませんか。➡P44 ●浄化フィルターが浴槽の水につかっていますか。 ●浴槽の中に残り湯がありますか。 ●お買い上げ後、初めて風呂水を使うとき、呼び水をしましたか。➡P35 ●発泡性のある入浴剤を使っていませんか。➡P35	運転終了後、異常原因を取り除く
UC 「電解漂白」「カビガード(電解槽洗浄)」コースの洗い途中で排水する	●食塩を入れすぎていませんか。➡P22・42 ●洗濯槽クリーナーを使用していませんか。➡P42 ●井戸水を使用していませんか。	

表　示	調べるところ	処　置
Ud 運転後表示する	●凍結防止(残水排水)を設定していませんか。 ➡P38	
UL ふたが開かない	●チャイルドロックを設定していませんか。 ➡P39	
E7 E9 EA Eb Ed EF EP EU E41 E42 E45 E46 など	制御部品の点検や修理が必要です。 電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて早めにお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。	

修理を依頼する前に
初期化をお試しください。

外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けて、正常に動かない場合があります。初期化をしてください。
なお、終了ブザー、チャイルドロック、凍結防止設定、除菌仕上げ設定、洗剤・漂白剤投入補助機能、「自分流」コースは購入時の設定内容に戻ります。

初期化の方法

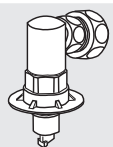
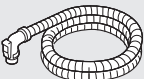
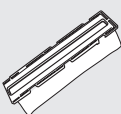
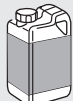
1. 電源 (入) を押す
2. (風呂水) を約6秒間押し続ける
   - 「ピー」となり、初期化完了
3. 電源 (切) を押す

➡

●再度電源を入れて、動作を確認してください。

尚、異常があるときは、内部をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めて早めにお買い上げの販売店、または当社 修理相談窓口 にご連絡ください。

➡P60

お願い 故障など、洗濯途中の洗濯物を長期間放置すると色落ち、色移りすることがあります。
→ 洗濯物は手洗いなどをしてください。

別売部品

ご要望の際は、お買い上げの販売店または当社 総合相談窓口 にごご相談ください。 ➡P60

- 給水栓ジョイント・壁ピタ水栓は、蛇口の形態によっては、取り付けできないものがあります。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

●希望小売価格は2013年10月現在（税込）

部品名	部品コード・品番	希望小売価格
洗濯機トレー 露付きによる床のぬれ防止用に 幅660×奥行660×高さ32mm(外寸)	TRAY-5 301 2 4134 21400	7,350円 (税抜7,000円)
排水ホース補修キット 排水ホースを延長するときに(長さ1.34m) 排水ホース　ホースつぎ手　ホース口　ホースバンド　接着剤	S114755	1,785円 (税抜1,700円)
真下排水パイプ 排水口が本体真下中央部にあるときに 真下排水パイプ　接着剤　ホースバンド　クッション	●HW-PIPE-2(商品扱い) ●SW-PIPE-1(サービス扱い) 301 0 3224 00100	1,260円 (税抜1,200円)
高さ調節クッションゴム（厚さ5mm） 傾斜床面、凹凸面に据え付けるときに	301 2 1442 23400	525円 (税抜500円)
高さ調整脚 真下排水パイプを使用するときに 本体の高さが約20mm高くなります。 2枚（約40mm)まで重ねられます。	HW-KYAKU-ASW (商品扱い)	630円 (税抜600円)
ホースバンド (排水ホース用)	301 2 3341 19900	210円 (税抜200円)
給水栓ジョイント 水もれ防止機能付き	CB-J6 301 0 3470 25000	2,520円 (税抜2,400円)
給水延長ホース	【1m】301 0 3275 24900 【2m】301 0 3275 25000 【3m】301 0 3275 25100	1,785円(税抜1,700円) 2,310円(税抜2,200円) 2,730円(税抜2,600円)
風呂水吸水ホース (長さ7m)	301 0 3275 31100	1,890円 (税抜1,800円)
フィルターA (風呂水ポンプ用) **(消耗部品)**	301 2 8752 10900	210円 (税抜200円)
糸くずフィルター **(消耗部品)**	LINT-19 301 2 2164 24500	630円 (税抜600円)
洗濯槽クリーナー	SWCLEAN-1 S0480002	2,100円 (税抜2,000円)
大物洗い用洗濯ネット	CN-3 301 0 2169 20500	3,675円 (税抜3,500円)

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

お買い上げの販売店で発行しますので、「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理を依頼されるとき

➡ P56~57に従って調べてください。直らないときは内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉め、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	全自動電気洗濯機
品　番	AQW-VZ10B
お買い上げ日	年　月　日
お名前	
ご住所・電話番号	
故障の内容	できるだけ具体的に

◆ **保証期間中は**
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◆ **保証期間をすぎている場合は**
修理により使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

◆ 保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。

◆ **修理料金の仕組み**
修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	ご依頼により、技術者を派遣する費用です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品 … その製品の機能を維持するために必要な部品です。

外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

転居されるときは

転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。

一般家庭用以外の目的でご使用になるとき

理容院、美容院、ホテルなどでの業務用使用、寮や病院など共同使用により1日の使用時間が一般家庭に比べて多い場合は、短期間で部品の交換（モータ、軸受などの機構部品）が必要になることがあります。また、耐久年数も減少します。
このようなご使用は、保証期間の対象になりません。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、業務用機器をお使いになることをおすすめします。

仕　様

●仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

種類	全自動電気洗濯機
外形寸法	幅616×奥行625×高さ1010 (mm)
製品質量	42kg
標準使用水量	139L (標準コース)
標準水量	68L
電源	100V・50Hz−60Hz共用
電動機定格消費電力	250W (50Hz-60Hz)
洗濯方式	うず巻式
標準洗濯容量	10.0kg (乾燥布状態での質量)
標準脱水容量	10.0kg (乾燥布状態での質量)
使用水道水圧	0.03～1MPa (0.3～10kgf/cm^2)

風呂水ポンプ(本体内蔵)

定格電圧	DC24V
揚水量	14L/分 (吸い上げ高さ1.2m・ホース4mのとき)
定格電流	DC1.8A

- 品番の(　)内記号は色記号です。
- 待機時消費電力(電源スイッチを切にした状態の電力)は、0(ゼロ)です。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS(日本工業規格)で規定された布地で乾燥状態の場合です。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談　〈 ハイアールアクアセールス株式会社 〉

受付時間：（365日）9：00～18：30

総合相談窓口	フリーダイヤル 0120−880−292

FAXでご相談される場合　ナビダイヤル 0570−013−790
ナビダイヤルでおつなぎします。全国各地より市内電話料金にてご利用いただけます。

家電商品の修理サービスについてのご相談　〈 ハイアールアクアセールス株式会社 〉

受付時間：月曜日～金曜日　9：00～18：30
土曜･日曜･祝日　9：00～17：30

修理相談窓口	フリーダイヤル 0120−778−292

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>
- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・ お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにハイアールアクアセールス株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://aqua-has.com/ をご覧ください。

廃棄時にご注意願います　家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検　長年ご使用の洗濯機の点検を！

こんな症状はありませんか	●電源コード・プラグが異常に熱い。 ●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水もれがする。（ホース、マジックつぎ手） ●こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。 ●本体にさわるとビリビリ電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故の防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて必ず販売店に点検をご相談ください。

ハイアール アクア セールス株式会社
〒532-0003　大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36

品　番	AQW-VZ10B
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げ店名	電話（　　）　−

56400